

# 消 防 統 計

令和4年版  
(2022)



木更津市消防本部

令和5年8月

## 目 次

木更津市消防の沿革	1
◇ 総 務 関 係 ◇	
1. 消防本部の機構	1 1
2. 市一般会計予算と消防予算の推移	1 2
3. 職員の配置	1 2
4. 年齢別及び階級別消防吏員数	1 3
5. 職員の教育研修の状況	1 4
6. 機械器具・建造物等の現況	1 5
◇ 予 防 関 係 ◇	
7. 防火対象物現況表	1 6
8. 中高層建築物現況表	1 7
9. 火災予防条例届出件数	1 8
10. 建築許可等の同意件数	1 8
11. 消防用設備等設置届出件数	1 9
12. 防火管理者選任対象物数	2 0
13. 危険物施設の許認可状況	2 1
14. 年度別危険物施設数の推移	2 1
◇ 火 災 関 係 ◇	
15. 出火原因別火災発生状況	2 2
16. 年次別火災発生件数	2 2
17. 年次別火災損害額	2 2
18. 月別火災発生状況	2 3
19. 曜日別・時間別火災発生状況	2 4
20. 署所別火災発生率	2 4
21. 火災による死傷者状況	2 5
22. 火災件数に対する種別割合	2 6
23. 年別の火災件数	2 6
◇ 警 防 関 係 ◇	
24. 消防の出動状況	2 7
25. 消防の月別出動状況	2 8
26. 火災出動状況	2 8
27. 応援協定等	2 9
28. 消防水利施設	3 2

◇ 救 急 ・ 救 助 関 係 ◇

29. 年別事故種別出動件数及び搬送人員	3 3
30. 年別救急出動件数及び搬送人員	3 3
31. 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員	3 4
32. 時間別出動件数	3 5
33. 救急隊員の行った応急処置件数	3 6
34. 月別出動件数及び搬送人員	3 8
35. 月別各署出動件数	3 9
36. 月別各署搬送人員	4 0
37. 救助活動概要	4 1
38. 救助隊員の構成	4 1
39. 救助隊員の訓練実施状況	4 1
40. 救助出動件数	4 2
41. 過去5年間の事故別救助出動件数	4 2

◇ 通 信 指 令 関 係 ◇

42. 消防通信施設系統図	4 3
43. 119番受付統計(覚知種別統計)	4 4
44. 119番受付統計(指令・切断統計)	4 4

◇ 気 象 関 係 ◇

45. 年別気象状況	4 5
46. 月別気象状況	4 6

◇ 消 防 団 関 係 ◇

47. 消防団機構図	4 7
48. 報酬及び費用弁償状況	4 8
49. 退職状況	4 8
50. 新任状況	4 8
51. 就業形態別状況	4 8
52. 団員の推移	4 8
53. 団員在職年数	4 8
54. 年齢別及び階級別団員数	4 9

## 木更津市消防の沿革

- 大正 6年 4月 明治22年市町村制が実施され、木更津・吾妻・貝淵の三村を合併して木更津町が誕生。消防の組織は火消組から逐次消防組に組織替
- 昭和 8年 4月 真船村合併、木更津町消防組と称される
- 昭和14年 4月 警防団令施行に伴い、消防組と自主的に配置されていた防護団とを統合して警防団を組織
- 昭和17年11月 木更津町・岩根村・清川村・波岡村の一町三村が合併、木更津市が誕生  
同時にその地区の警防団が統合
- 昭和20年 5月 常備消防部設置。初代部長平野重蔵以下15名、ポンプ車1台配備
- 昭和22年 5月 消防団令が交付され、警防団を消防団に改称、その後初代団長に乙部弘一氏就任  
22分団、団員定数1,180名
- 昭和23年 3月 消防組織法の施行（昭和23年3月7日）に伴い、警察行政から自治体消防として独立
- 昭和25年 2月 第2代消防団長に水野保三氏就任
- 昭和26年 1月 消防本部設置委員会を置き検討  
4月 消防本部・署を設置。山崎市長が消防長事務取扱いに、常備部長広部儀一氏が消防本部次長に、副団長佐藤美子男氏が初代消防署長にそれぞれ就任  
職員21名、ポンプ車2台、水管車1台配備
- 昭和28年 8月 水槽付消防ポンプ自動車配備
- 昭和29年11月 鎌足村合併
- 昭和30年 2月 金田村合併  
財団法人日本消防協会から、木更津市消防団に対して表彰旗を授与  
3月 中郷村合併、消防団を統合、7個分団38個部、団員定数800名
- 昭和31年10月 北部地区に庁舎及び普通消防車1台の寄贈を受け高柳出張所開設  
職員8名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
- 昭和32年 3月 国家消防本部から、木更津市消防本部・消防団に対して表彰旗を授与  
4月 第3代消防団長に榎本武雄氏就任  
6月 中短波無線電話機整備（基地局1（本部）移動局2（本部、高柳出張所））  
9月 第4代消防団長に山田隆茂人氏就任  
10月 東部地区に長須賀出張所開設  
職員8名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
- 昭和33年 3月 旧庁舎を取り壊し、森林組合事務所（三会堂）庁舎を移築、その1階を消防庁舎として使用  
7月 広報車（ライトバン改造）を配備し予防広報活動を開始  
9月 救急車（ライトバン改造）を配備し本格的救急活動を開始
- 昭和35年 4月 木更津市危険物安全協会設立  
12月 本署配備の水管車を水槽付消防ポンプ自動車に更新整備

- 昭和39年 1月 化学対応水槽付消防自動車配備  
6月 第5代消防団長に高橋智氏就任
- 昭和40年 4月 指揮車（ジープ）配備  
6月 第6代消防団長に水野兼治氏就任  
10月 木更津市消防音楽隊発足（隊員16名）  
12月 君津郡市防犯協会から広報車の寄贈を受け、広報車更新
- 昭和41年 7月 救急車配備（本署）、木更津ロータリークラブから配備資金（100万円）の寄贈（ロータリークラブ号と命名）  
11月 無線電話の通話方式切替に備え超短波無線電話機整備（基地局用1基、移動局用1基）
- 昭和42年 2月 南部地区に桜井出張所開設  
職員6名、普通消防ポンプ自動車1台配備  
4月 職員定数61名  
市長職消防長事務取扱を廃し、初代専任消防長に佐藤美子男氏就任  
7月 本部・署の機構改革を行い課制に移行  
10月 超短波無線電話機移動局6基整備、中短波から超短波無線電話に切替
- 昭和43年 6月 救急車配備、木更津ライオンズクラブから配備資金（50万円）の寄贈（ライオンズクラブ号と命名）  
11月 無線電話機1基整備
- 昭和44年 2月 化学車配備（本署）  
4月 1署、3出張所、ポンプ車6台、救急車2台、指揮車1台、広報車1台、化学車1台  
職員定数65名
- 昭和45年 4月 職員定数66名
- 昭和46年 9月 君津郡富来田町と合併、消防団を統合し8個分団、45個部、団員定数850名
- 昭和47年 4月 職員定数85名  
11月 はしご付消防ポンプ自動車（30m級）配備（本署）  
木更津信用金庫から購入資金（1,000万円）の寄贈  
潮見2丁目8番地に消防庁舎移転（鉄筋コンクリート2階建新築）
- 昭和48年 4月 職員定数90名  
救急車配備（本署）、木更津ロータリークラブから配備資金（100万円）の寄贈（ロータリー2号と命名）  
6月 千葉県共済農業協同組合から救急車1台の寄贈（共済号と命名）  
12月 サカモトそごうから消防施設強化資金200万円寄贈
- 昭和49年 4月 第2代消防長に水野兼治氏就任  
職員定数101名  
第7代消防団長に江尻正氏就任  
5月 高柳出張所隣地へ移転（鉄骨2階建新築）

- 昭和50年 1月 職員定数106名  
 3月 富来田出張所開設（鉄骨2階建）  
 職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備  
 4月 元署長渡辺利助氏、勲七等青色桐葉章を受章  
 職員定数112名  
 5月 第8代消防団長に浦部三郎氏就任。浪花商事(株)から広報車（乗用車）の寄贈（浪花号と命名）  
 木更津ライオンズクラブから赤バイ（ホンダ125cc）の寄贈  
 7月 第9代消防団長に吉田政雄氏就任  
 16mm映写機整備、明王丸商事(株)から整備資金（50万円）の寄贈
- 昭和51年 9月 水槽付消防ポンプ自動車配備、松沢栄氏から購入資金（100万円）の寄贈  
 11月 元消防本部次長小籠光輝氏、勲六等単光旭日章を受章
- 昭和52年 3月 消防本部次長小堀浅次氏から音楽隊制服一式（100万円相当）の寄贈  
 7月 消防団組織一部改正により、団員定数800名  
 12月 救急指令装置B型を整備
- 昭和53年 3月 救急車配備、木更津ロータリークラブから配備資金（100万円）の寄贈（ロータリー3号と命名）  
 木更津信用金庫から指令車の寄贈（しんきん号と命名）  
 4月 第10代消防団長に鈴木四郎氏就任  
 12月 救急車配備、木更津金鈴ライオンズクラブから配備資金（100万円）の寄贈（金鈴号と命名）
- 昭和54年 3月 化学車配備（本署）  
 4月 元消防長佐藤美子男氏、勲六等瑞宝章を受章  
 職員定数122名
- 昭和55年 1月 (株)堀江商店から広報車寄贈  
 3月 本署に別棟車庫新設  
 4月 第11代消防団長に伊藤満男氏就任  
 元団長吉田政雄氏、勲六等単光旭日章を受章  
 11月 千葉敏雄氏から広報車及び救急訓練用人形（レサシアン）の寄贈
- 昭和56年 10月 防火基準適合表示制度が発足した
- 昭和57年 3月 桜井出張所下烏田に移転新築（鉄骨平屋建）、波岡出張所と改称  
 4月 第3代消防長に石井崇氏就任  
 消防団組織の一部改正、8個分団42個部、団員定数740名  
 11月 救助訓練塔（補助塔）設置
- 昭和58年 1月 長須賀出張所改築（鉄骨2階建）  
 5月 救助訓練塔（主塔）設置
- 昭和59年 3月 長須賀出張所に救急車を配備  
 4月 木更津市防火協会設立

- 昭和60年 3月 救助工作車配備（本署）市内建築業親和会から配備資金（1,000万円）の寄贈を受けた
- 4月 職員定数123名
- 12月 安田勝彦氏から連絡車（三菱パジェロ）の寄贈
- 昭和61年 4月 職員定数128名
- 清川出張所開設、職員8名、水槽付消防ポンプ自動車1台配備
- （財）木更津自動車学校からマイクロバスの寄贈
- 昭和62年 4月 第4代消防長に前原忠男氏就任
- 職員定数135名
- 薬丸病院から救急資機材（300万円相当）の寄贈
- 12月 （社）千葉県消防設備保守協会から広報車（140万円相当）の寄贈
- 昭和63年 4月 職員定数137名
- 共栄運輸株から指揮車（450万円相当）の寄贈
- 消防団組織の一部改正、8個分団41個部、団員定数700名
- 平成 元年 3月 指令室、事務室を改修し消防緊急情報システム（Ⅱ型）導入
- 4月 職員定数147名
- 組織の一部を改正、通信指令係を廃止し、本部警防課指令係とし、署に救助係を設置、消防音楽隊を総務課に所管替
- 消防団組織の一部改正、8個分団39個部
- 平成 2年 6月 乗用車（指揮2）購入（本部）
- 平成 3年 4月 職員定数151名、組織の一部を改正、警防課指令係を指令課に昇格
- 消防団員出動手当を800円から1,000円に改定
- 5月 第5代消防長に山村英男氏就任
- 10月 指揮車（指揮1）購入（本署）
- 平成 4年 2月 消防ポンプ自動車を更新整備（本署）
- 3月 清川出張所に屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）を配備
- 木更津市消防発足40年記念誌「木更津消防のあゆみ」発刊
- 4月 職員定数155名
- 第12代消防団長に石渡幸雄氏就任
- 元消防長水野兼治氏、勲五等双光旭日章を受章
- 7月 木更津市消防団活性化対策検討委員会設置
- 12月 クレーン付災害資機材搬送車配備（本署）
- 平成 5年 1月 化学消防ポンプ自動車を更新整備（本署）
- 4月 職員定数165名
- 消防団員出動手当を1,000円から1,200円に改定
- 10月 指揮車（警防1）購入（本部）
- 12月 水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（富来田分署）
- 平成 6年 4月 第6代消防長に中山頼次氏就任
- 11月 元消防本部消防司令 泉水一雄氏、勲六等単光旭日章を受章

- 1 2 月 3 0 m 級はしご付消防自動車を 3 8 m 級に更新整備（本署配備）
- 平成 7 年 1 月 広報車（予防 1）購入（本部）  
阪神淡路大震災の被災地へ救援物資搬送の為、職員 2 名派遣
- 4 月 第 7 代消防長に竹谷文秀氏就任  
職員定数 1 8 5 名  
組織の一部を改正、三部制とし、指令課に第 1. 2. 3 係、消防署の消防、救急、特別救助隊各第 1. 2. 3 係を置き、長須賀、富来田出張所を分署へ改称
- 1 2 月 2 B 型救急車を高規格救急自動車に更新整備（本署）
- 平成 8 年 2 月 小型動力ポンプ積載車を小型動力ポンプ付積載車に更新整備（富来田分署）
- 5 月 本市初の救急救命士誕生
- 1 0 月 消防組織法に基づく木更津市消防職員委員会を設置  
金田分署開設、職員 1 3 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台配備
- 平成 9 年 4 月 第 8 代消防長に村松嘉明氏就任  
消防団組織の一部改正、団員定数 6 6 3 名  
消防団員出動手当を 1, 2 0 0 円から 1, 4 0 0 円に改定
- 7 月 元消防司令長 故君塚 博氏 従七位・勲六等単光旭日章受章
- 1 2 月 東京湾横断道路開通、金田分署に救急自動車配備
- 平成 1 0 年 2 月 金田分署に訓練塔建設
- 3 月 木更津信用金庫から高規格救急自動車等の購入資金 2, 0 0 0 万円の寄贈
- 4 月 第 9 代消防長に地曳 昌氏就任  
初の女性消防吏員誕生
- 平成 1 1 年 2 月 2 B 型救急車を高規格救急自動車に更新整備（金田分署）
- 3 月 消防無線塔を市役所庁舎屋上に移転し建設  
救助工作車を II 型に更新整備（本署）  
指揮車（指揮 3）購入（本署）  
木更津市消防音楽隊の活動が休止
- 平成 1 2 年 2 月 水槽付消防ポンプ自動車更新整備（本署）
- 4 月 第 1 0 代消防長に渡辺庄一氏就任  
第 1 3 代消防団長に相田 清氏就任  
組織の一部を改正、総務課と警防課を統合して消防総務課に、消防課に指令係を設置
- 平成 1 3 年 2 月 2 B 型救急車を高規格救急自動車に更新整備（富来田分署）  
水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（長須賀分署）
- 4 月 第 1 1 代消防長に鈴木靖雄氏就任
- 1 1 月 元消防団副団長 齋藤 豊氏 勲六等瑞宝章受章
- 1 2 月 富来田分署、旧富来田支所へ移転
- 平成 1 4 年 2 月 2 B 型救急車を高規格救急自動車に更新整備（長須賀分署）
- 1 0 月 明王丸商事(株)代表取締役会長 大森廣志氏より、煙体験ハウス一式の寄贈



- 1 1 月 福島県会津若松市在住の吉田恭子氏より、救急車積載用電子血圧計 4 台及びポーターサインの寄贈
- 1 2 月 消防本部構内電話交換機交換
- 平成 1 5 年 3 月 水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（波岡出張所）
- 4 月 第 1 2 代消防長に小久保健洋氏就任
- 1 1 月 元消防司令 鈴木市五郎氏及び元消防司令長 石田建太郎氏 第 1 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成 1 6 年 3 月 消防緊急通信指令システム（Ⅱ型）更新整備（リース契約）  
木更津市防火協会から当協会設立 2 0 周年記念事業として、消火訓練用器材 1 台及び救急用資機材（バックボードキット）3 セットの寄贈
- 4 月 第 1 3 代消防長に石塚 彰氏就任  
元消防司令長 清水吉三氏 第 2 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章  
消防団長 相田 清氏 藍綬褒章受章
- 6 月 木更津市防火協会から木更津市防災協会へ名称を変更
- 1 1 月 元消防司令長 館林 昭氏 第 3 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成 1 7 年 1 月 木更津市真舟在住の田中ムツイ氏から、防寒衣 1 7 1 着分及び A E D トレーニングシステム 2 台の寄贈
- 3 月 高規格救急自動車を更新整備（本署）  
元消防司令長 榎本 守氏 第 4 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成 1 8 年 4 月 第 1 4 代消防団長に齊藤多喜雄氏就任
- 1 1 月 元消防司令長 高須 武氏 第 7 回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 江野澤操氏 第 7 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成 1 9 年 1 月 広報車（予防 2）更新整備（本部）
- 3 月 消防本部庁舎訓練塔を撤去  
高規格救急自動車を更新整備（金田分署）  
水槽付消防ポンプ自動車を更新整備（高柳出張所）
- 4 月 第 1 4 代消防長に鈴木清一氏就任  
元消防司令長 榎本義男氏 第 8 回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 近藤一弘氏 " "
- 元消防司令長 伊島昭次氏 " 瑞宝単光章受章  
元消防司令長 柴崎文男氏 " "
- 7 月 新潟県中越沖地震の被災地へ救援物資搬送の為、職員 2 名派遣
- 1 0 月 木更津市消防団広報紙「纏」発行
- 1 1 月 元消防司令長 竹内善次氏 第 9 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章  
元消防司令長 浦邊 功氏 " "
- 1 2 月 防火服一式更新整備（7 0 着）及び防火長靴更新整備（7 0 足）
- 平成 2 0 年 3 月 3 8 m 級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施
- 4 月 元消防司令長 鳥海三郎氏 第 1 0 回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 1 1 月 元消防司令長 大森 茂氏 第 1 1 回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章



- 木更津市消防発足60周年記念として市川由紀乃氏による歌謡コンサート実施
- 平成24年 1月 (株)エノモト防災工業から式台及びAEDトレーナー2体の寄贈
- 平成24年 3月 高規格救急自動車を更新整備(富来田分署)
- 4月 第16代消防長に須藤宏一氏就任  
第15代消防団長に竹内克哉氏就任
- 平成25年 2月 清川出張所の屈折はしご付消防ポンプ自動車を15m級はしご付消防ポンプ自動車に更新整備
- 3月 ちば消防共同指令センターに119番通報等切替  
高規格救急自動車を更新整備(長須賀分署)
- 4月 ちば消防共同指令センター正式運用  
第17代消防長に篠田清隆氏就任  
波岡出張所に高規格救急自動車を新規配備  
波岡出張所を波岡分署へ格上げし運用開始  
消防団組織の一部改正、団員定数600名  
元消防団長 齊藤多喜雄氏 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 重城安彦氏 第20回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成26年 3月 消防署の化学消防ポンプ自動車を更新整備  
富来田分署の消防ポンプ自動車(CAFS付)を更新整備
- 4月 元消防監 鈴木清一氏 第22回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 浦邊金吾氏 // 瑞宝単光章受章
- 8月 元消防司令長 故葛田直史氏 従六位・瑞宝単光章受章
- 11月 元消防司令長 阿部 徳氏 第23回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 平成27年 2月 高規格救急自動車を更新整備(消防署)
- 3月 木更津市消防本部庁舎建設基本計画及び消防署所適正配置調査書を策定  
(一般財団法人 消防科学総合センター 監修)
- 4月 元消防司令長 市川 悟氏 第24回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 鈴木由郎氏 // //
- 9月 緊急消防援助隊として、消火小隊及び後方支援小隊を茨城県常総市に派遣(8名)  
(派遣日 平成27年9月15日~9月17日)
- 11月 本部指揮2を更新整備
- 平成28年 1月 平成27年9月関東・東北豪雨に緊急消防援助隊として出動した功績に対して本市消防本部が受章(消防庁長官表彰)
- 2月 木更津市消防本部庁舎建設基本設計を完了  
(株)榎本建築設計事務所 監修)
- 3月 平成27年9月関東・東北豪雨に緊急消防援助隊として出動した功績に対して本市消防本部が受章(千葉県知事表彰)  
指揮隊用の指揮車を新たに整備
- 4月 第18代消防長に時田啓美氏就任

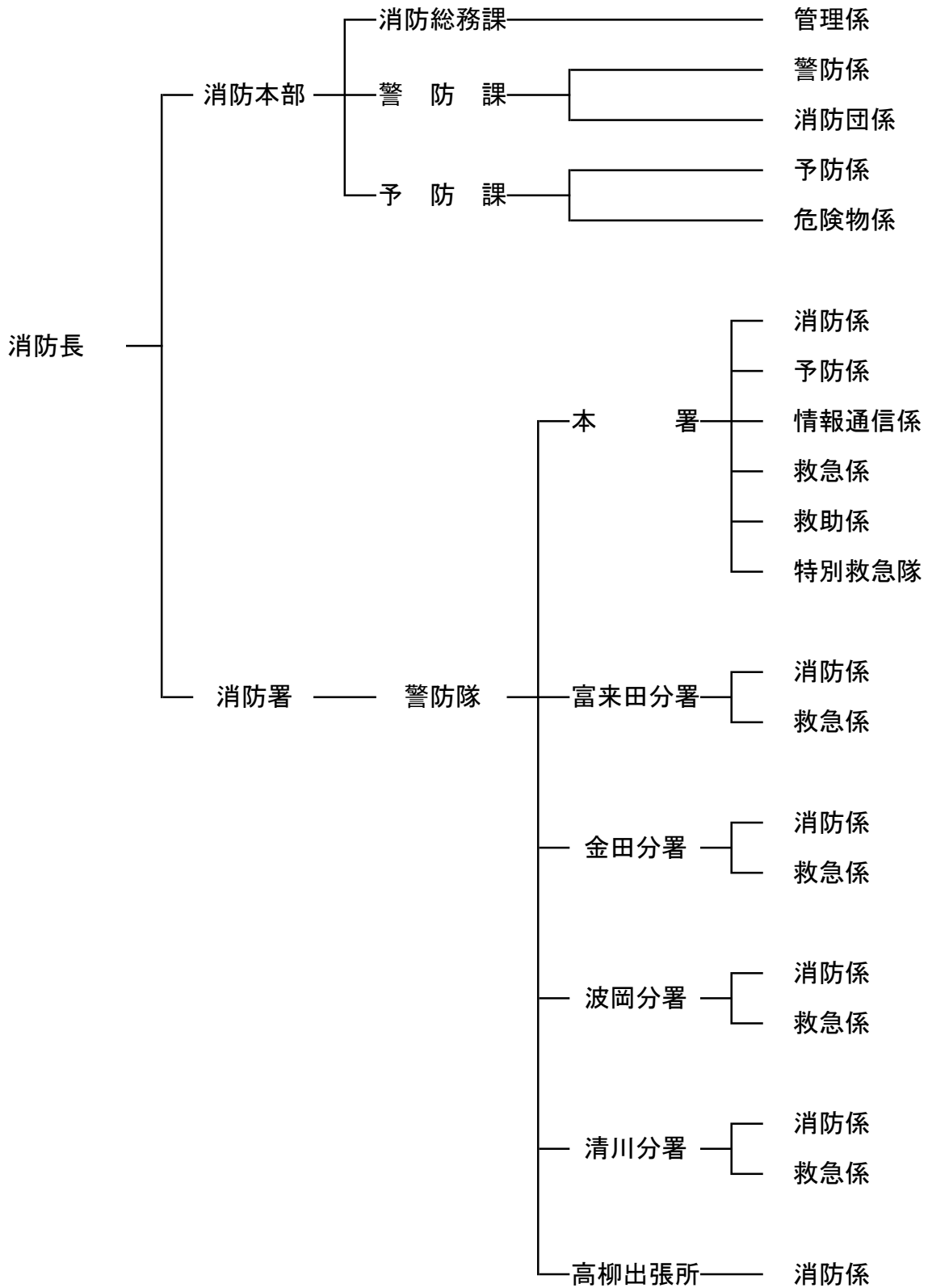
- 第16代消防団長に地曳貞夫氏就任  
機能別消防団の発足（女性消防団・部員13名）  
元消防司令長 横田 彰氏 第26回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章  
消防団 班長階級の報酬を23,000円から28,000円に改定  
消防団 団員階級の報酬を23,000円から27,000円に改定
- 平成28年11月 元消防司令長 小泉 俊行氏 第27回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成29年 2月 木更津市消防本部庁舎建設実施設計を完了  
（㈱榎本建築設計事務所 監修）
- 4月 第19代消防長に安田 勇氏就任  
組織の一部を改正  
警防課を新設（消防本部：3課体制 消防総務課・警防課・予防課）  
元消防司令長 山中 裕氏 第28回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
消防団員の火災・風水害による出動手当を1,800円に改正
- 9月 木更津市消防本部庁舎建設着工
- 11月 元消防司令長 波多野正巳氏 第29回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 平成30年 2月 消防団活動により地域に貢献した大学生等の就職活動等を支援するために創設した  
「木更津市学生消防団活動認証制度」に係る認証状の第1号交付  
木更津市消防団 機能別分団女性部 班長 宗政 佳波氏  
（3月に認証状交付式を開催）
- 4月 職員定数195名  
元消防監 泉水義治氏 第30回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
元消防司令長 小原義忠氏 第30回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 11月 元消防司令長 竹山昭治氏 第31回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章  
木更津市消防音楽隊規程を廃止
- 平成31年 2月 金田分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新整備  
3月 消防署の40m級はしご自動車を更新整備  
4月 第20代消防長に岡田清治氏就任  
機能別消防団の発足（学生消防団・部員22名）
- 令和 元年 5月 元消防司令長 鳥海正彦氏 第32回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章  
7月 木更津市消防本部庁舎竣工（7月31日）  
8月 木更津市消防本部庁舎竣工式（8月23日）  
㈱エノモト防災工業から子供用放水体験資機材（こども消防車）及び子供用防火服一式の寄贈  
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ㈱木更津サイトからAV機器（液晶テレビ、ブルーレイレコーダー、プロジェクター、スクリーン、テレビ台）一式の寄贈  
日建㈱から演台（大、小）、花台及び消防旗の寄贈
- 9月 木更津市消防本部・消防署移転運用開始（9月1日）
- 10月 消防署所再配置計画に基づき長須賀分署を廃止し、長須賀分署の水槽付き消防ポンプ自動車を本署へ配備、高規格救急自動車を清川出張所へ配備

- 清川出張所を清川分署へ格上げし運用開始（10月1日）  
 長須賀分署廃止に伴い、消防団第3分団第1部詰所として運用開始
- 11月 元消防司令長 長谷川敏彦氏 第33回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
- 12月 本市初の木更津市消防団協力事業所表示証の交付（明王丸商事株式会社）
- 令和 2年 4月 組織の一部を改正 消防署本署に予防係、情報通信係を設置
- 令和 2年 6月 共栄海運(株)から連絡車（370万円相当）の寄贈
- 10月 共栄海運(株)から広報車（695万円相当）の寄贈  
 木更津市防災協会から式典・イベント用バックパネルの寄贈
- 11月 元消防司令長 故近藤一弘氏 正七位追贈
- 12月 災害用多目的支援車を配備（本署）  
 元消防司令長 故竹内善次氏 正七位追贈
- 令和 3年 2月 高規格救急自動車を更新整備（金田分署）
- 4月 第21代消防長に高岡禎暢氏就任  
 組織の一部を改正 消防本部警防課に消防団係を設置
- 元消防監 篠田清隆氏 第36回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 11月 元消防監 時田啓美氏 第37回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 元消防司令長 渡辺賢一氏 第37回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章受章
- 12月 元消防司令長 故鈴木豊氏 従六位追贈
- 令和 4年 4月 第17代消防団長に細野 暢氏就任  
 機能別消防団の発足（大規模災害部・部員29名）  
 消防団組織の一部改正、団員定数570名  
 消防団出動手当を出動報酬に改正  
 消防団員の火災・風水害による出動報酬を1,800円から8,000円（一日上限）に改定  
 消防団員の警戒・訓練・その他の出動報酬を1,400円から3,500円に改定  
 消防団 各階級の年額報酬を国の示す基準額に改定
- |      |                      |
|------|----------------------|
| 団長   | 260,000円から82,500円に改定 |
| 副団長  | 166,000円から69,000円に改定 |
| 分団長  | 119,000円から50,500円に改定 |
| 副分団長 | 54,000円から45,500円に改定  |
| 部長   | 35,000円から37,000円に改定  |
| 班長   | 28,000円から37,000円に改定  |
| 団員   | 27,000円から36,500円に改定  |
- 6月 元消防司令長 故山口清市氏 正七位・瑞宝単光章受章
- 令和 5年 1月 高規格救急自動車を更新整備（清川分署）
- 2月 千葉県消防職員意見発表会で優秀賞を受賞
- 3月 救助工作車（Ⅲ型）を更新整備（本署）  
 総務省消防庁から救助用資機材・防災学習用資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車等の無償貸付

# 総務関係

# 1. 消防本部の機構図

(令和5年4月1日現在)



## 2. 市一般会計予算と消防予算の推移

年 度	一般会計 当初予算 (千円) A	消防費 当初予算 (千円) B	構成費 B/A (%)	消防費当初予算内訳 (千円)			市民一人 当りの消防 予算額 (円)
				常備 消防費	非常備 消防費	消防 施設費	
27	40,410,000	1,500,682	3.7	1,366,577	44,645	89,460	11,279
28	40,530,000	1,597,507	3.9	1,390,868	47,212	159,427	11,919
29	43,720,000	1,804,119	4.1	1,397,956	49,385	356,778	13,449
30	43,260,000	3,103,679	7.2	1,441,256	46,356	1,616,067	22,999
1	44,946,000	1,740,250	3.9	1,507,784	60,466	172,000	12,876
2	47,029,000	1,757,878	3.7	1,485,133	55,478	217,267	12,983
3	47,237,000	1,654,139	3.5	1,507,649	48,627	97,863	12,196
4	51,855,000	1,919,524	3.7	1,511,063	66,293	342,168	14,138
5	53,297,000	1,864,183	3.4	1,501,782	62,034	300,367	13,687

## 3. 職員の配置

令和5年4月1日現在

階級別 配置先		消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員	計	
		消防本部	消防長	1							
	消防総務課		1	1	1	1	2			6	
	警防課		2	1	1	2	1			7	
	予防課		1	1	2	2	3			9	
	小計	1	4	3	4	5	6			23	
消防署	署長		1							1	
	副署長		1							1	
	本署			8	11	14	10	10	13		66
		指令センター			1	2	1				4
	富来田分署		1	3	7	4	3	3		21	
	金田分署		1	3	6	3	5	3		21	
	波岡分署		1	3	5	4	5	3		21	
	清川分署		1	3	6	1	4	6		21	
	高柳出張所			3	1	2	1	5		12	
小計		14	27	41	25	28	33		168		
合計		1	18	30	45	30	34	33		191	

※木更津市役所出向者3名を人員から除く

※指令センターは、千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会への出向者を記載



#### 4. 年齢別及び階級別消防吏員数

令和5年4月1日現在 (人)

階級別 年齢別	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計	うち女性 消防吏員
18歳							2	2	
19歳							1	1	
20歳							2	2	
21歳							4	4	1
22歳							5	5	1
23歳							7	7	
24歳						2	5	7	
25歳						4	2	6	
26歳						6	1	7	
27歳						7	1	8	
28歳						2	2	4	
29歳					1	2	1	4	
30歳						4		4	1
31歳					3	4		7	
32歳					2	1		3	
33歳					6	1		7	
34歳					4	1		5	1
35歳									
36歳				1	2	1		4	
37歳					3			3	
38歳					3			3	
39歳				2	4			6	
40歳				1				1	
41歳				4	2			6	
42歳				4	1			5	
43歳				1				1	
44歳				7				7	
45歳				3				3	
46歳				6				6	
47歳			1	5				6	
48歳		1	5	5				11	
49歳			1	5				6	
50歳			4	1				5	
51歳			3					3	
52歳		1	6					7	
53歳			2	1				3	
54歳		3	2					5	
55歳		6	3					9	
56歳		2	3					5	
57歳		2						2	
58歳	1	1						2	
59歳		2						2	
60歳									
合計	1	18	30	46	31	35	33	194	4
平均年齢	58.0歳	55.2歳	50.6歳	45.0歳	35.4歳	28.2歳	23.0歳	38.7歳	26.8歳

## 5. 職員の教育研修の状況

区分		年度別										計
		25年度以前	26	27	28	29	30	1	2	3	4	
消防 大学校	新任消防長・学校長科									1		1
	幹部科		1	1	1	1						4
	上級幹部科	1										1
	警防科	2										2
	救助科	2		1			1					4
	救急科	1										1
	予防科	2				1						3
千葉県 消防学校	初任科	232	10	12	8	10	7	8	3	6	4	300
	救助科	35			3		3	2	2	1	2	48
	警防科	8										8
	訓練指導科	41	2	2	2	2	2	2		2	2	57
	救急科(救急Ⅰ課程53名・救急Ⅱ課程21名含)	139	3	3	3	2	2	2	3	4	9	170
	気管挿管講習	3										3
	薬剤投与講習	4										4
	気管挿管・薬剤投与講習	9										9
	処置拡大2行為追加講習			3	4	4	10	1				22
	一般救命士再教育							2	2	2		6
	救急隊長再教育							2	2	1		5
	初級幹部科	4										4
	中級幹部科	14	2	2	2	2	1	1	2	2	2	30
	幹部特別研修	8										8
	特殊災害科					1	2	2	2	2	2	11
	水難救助科							2	1	1	1	5
予防科危険物課程及び危険物科	5	1			1		1	1	1	1	11	
予防 火調及び査察科	27	2	2	1	2	4	4	3	4	4	53	
財団救 団興急	救急救命士養成	15	1	1	1	1	1	1		1	1	23
	指導救命士養成						1	1				2
ア カ 市 デ ミ 村 	財政運営研修	1										1
	パソコン研修	5										5
	行政課程研修	1										1
	災害に強い地域づくりと危機管理						1		2			3
	法令実務						1	3			1	5
	情報公開と個人情報保護										1	1
千葉県 自治 研修 セン ター	課長研修6名・課長補佐研修3名	9										9
	係長研修							2				2
	JST指導者研修	3										3
	法制執務研修	12					3			1		16
	財務研修	7				1	1	1		1	1	12
	契約事務研修	5	1				1	1	1	1		10
	行政課程研修	1										1
	クレーム対応(個人)研修				1							1
	議会答弁対応能力向上研修				1	1						2
	ロジカル・ライティング研修				1							1
	ハラスメント防止研修					1				2	3	6
	折衝・交渉能力向上研修					1			1			2
	危機管理・マスコミ対応研修				1							1
	コミュニケーションスキルアップ研修						1					1
	プレゼンテーション							1				1
コンプライアンス研修						1			1	1	3	
そ の 他	移動式小型クレーン技能講習	26	2	3		5		6			4	46
	玉掛技能講習	18	5	3		5		3	3		4	41
	酸素欠乏・硫化水素作業主任講習			9		12			6		8	35
	溶接技能講習	18					5		6			29
	ロープレスキュー講習						4	3	3	2		12
	アリゾナボーテックスフレーム講習								3			3
	2級小型船舶操縦士免許講習									1	3	4

## 6. 機械器具・建造物等の現況

令和5年4月1日

配置先 区分		消 防 本 部					消 防 団								計		
		本部・本署	富来田分署	金田分署	波岡分署	清川分署	高柳出張所	団本部	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	6分団		7分団	8分団
車 両	はしご車消防自動車 ( 40 m 級 )	1															1
	はしご付消防ポンプ自動車 ( 15 m 級 )					1											1
	救 助 工 作 車	1															1
	化学消防ポンプ自動車	1															1
	水槽付消防ポンプ自動車	2	1	1	1	1	1										7
	消 防 火 ン ン ン ン ン ン 自動車	1							1	1		2	1	1			7
	小型動力ポンプ付積載車		1					1	1	4	4	4	2	6	4	6	33
	救急自動車(高規格)	3	1	1	1	1											7
	指 揮 車	3															3
	支 援 車	1															1
	広 報 車	2															2
	そ の 他 の 車 両	2															2
	計	17	3	2	2	3	1	1	2	5	4	6	3	7	4	6	66
建 造 物	消 防 庁 舎	1	1	1	1	1	1										6
	消 防 団 詰 所								2	5	4	6	3	7	4	6	37
	訓 練 塔	1		1													2
	ホ ー ス 乾 燥 施 設	1	1	1	1	1	1		2	5	3	5	3	3	4	5	36

予 防 関 係

## 7. 防火対象物現況表

令和5年3月31日現在

区分	用途例	対象数
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	2
	ロ 公会堂、集会場	46
2	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブ等	
	ロ 遊技場、ダンスホール	7
	ハ 性風俗店舗等	
	ニ カラオケボックス、個室ビデオ等	3
3	イ 待合、料理店等	3
	ロ 飲食店	123
4	百貨店、マーケット、物品販売店舗、展示場	252
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	110
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	1,272
6	イ 病院、診療所、助産所	85
	ロ 老人短期入所施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム(主として要介護状態にある者を入居させるものに限る。)、重症心身障害児施設等	74
	ハ 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、有料老人ホーム(主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。)、児童養護施設等	124
	ニ 幼稚園、特別支援学校	15
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校等	142
8	図書館、博物館、美術館等	6
9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場等	2
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場	4
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	2
11	神社、寺院、教会等	25
12	イ 工場、作業場	238
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ 自動車車庫、駐車場	31
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	11
14	倉庫	322
15	前各項に該当しない事業場	610
16	イ 特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	227
	ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物	97
16の2	地下街	
16の3	準地下街	
17	重要文化財、民俗資料、史跡等	2
18	延長50メートル以上のアーケード	
19	市町村の指定する山林	
20	総務省令で定める舟車(省令第5条)	
計		3,835

## 8. 中高層建築物現況表

令和5年3月31日現在

区分	用途例	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	合計
1	イ 劇場、映画館、観覧場等													
	ロ 公会堂、集会場	4	1											5
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等													
	ロ 遊技場、ダンスホール													
	ハ 性風俗店舗等													
	ニ カラオケボックス、個室ビデオ等													
3	イ 待合、料理店等		1											1
	ロ 飲食店	6	3											9
4	百貨店、マーケット等	7	1	2										10
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	7	3	1	2	3	1	1	1		1			20
	ロ 寄宿舍、共同住宅等	290	64	51	7	4	3	3	2	1	1	5	2	433
6	イ 病院、診療所等	10	2	4	2				1					19
	ロ 老人短期入所施設、重症心身障害児施設等	14	4	1										19
	ハ 老人デイサービスセンター、児童養護施設等	1	2		1									4
	ニ 幼稚園、特別支援学校													
7	小中高等学校、大学等	31	14	6						2				53
8	図書館、博物館等	1												1
9	イ 蒸気、熱気浴場													
	ロ イ以外の浴場			1										1
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場	1												1
11	神社、寺院、教会等	2	1											3
12	イ 工場、作業場	8	4											12
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ													
13	イ 自動車車庫、駐車場													
	ロ 飛行機格納庫	1												1
14	倉庫	8	3											11
15	各号に該当しない事業所	75	24	16	8	1								124
16	イ 複合用途	95	32	20	6	3	4	1	1					162
	ロ イ以外の複合用途	37	17	3	2			1						60
計		598	176	105	28	11	8	6	5	3	2	5	2	949

## 9. 火災予防条例届出件数

令和4年度

種別	月 別													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
防火対象物使用開始届	9	15	9	10	11	14	18	4	11	20	17	25	163	
炉	1	1	1										3	
温風暖房機														
厨房設備														
ボイラー					1		1	1					3	
壁付暖炉														
乾燥設備		1						1				1	3	
サウナ設備										1			1	
給湯湯沸設備	2	1		1		1	2	1				1	9	
ヒートポンプ冷暖房機														
変電設備	2	2	2	2	5	2	3	4	5	2	1	1	31	
発電設備	1	1		1	1	1		1		1			7	
蓄電池設備	2					1		1	2			1	7	
ネオン管灯設備														
指定洞道等														
少量危険物		1	1	3				4					9	
指定可燃物						1							1	
合 計	17	22	13	17	18	20	24	17	18	24	18	29	237	

## 10. 建築許可等の同意件数

令和4年度

種別	月 別													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
新 築	10	11	19	18	12	15	18	18	14	13	22	20	190	
増 築		3			1		1	3	3		3	1	15	
改 築														
移 転														
増 改 築														
模 様 替														
用 途 変 更					1								1	
そ の 他														
合 計	10	14	19	18	14	15	19	21	17	13	25	21	206	

# 11. 消防用設備等設置届出件数

令和4年度

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
対象種別													
消火器	11	6	5	5	7	11	10	2	6	6	7	18	94
屋内消火栓設備				1	1	1		1		3	1	1	9
スプリンクラー設備	1	2	2			1	1	1				1	9
泡消火設備									1				1
不活性ガス消火設備				1			1		1				3
ハロゲン化物消火設備													
粉末消火設備				2	1								3
屋外消火栓設備										2			2
動力消防ポンプ設備		1											1
自動火災報知設備	6	6	8	1	6	17	15	7	11	12	15	19	123
ガス漏れ火災警報設備													
漏電火災警報器													
火災通報装置	2	1	1				4	1	1		1	1	12
非常警報設備			5	1	1	4	2	1		2	2	1	19
避難器具	1	1		1	2	2	1		1	3	4	6	22
誘導標識	2		1			1					1	2	7
誘導灯	7	6	7	2	6	6	10	3	8	8	10	14	87
消防用水			1										1
排煙設備													
連結散水設備													
連結送水管				1									1
非常コンセント設備													
パッケージ型自動消火設備						1							1
パッケージ型消火設備													
計	30	23	30	15	24	44	44	16	29	36	41	63	395



## 12. 防火管理者選任対象物数

令和5年3月31日現在

区分	対象物 用途例	甲種防火対象物		乙種防火対象物		合計
		単一権原	複数権原	単一権原	複数権原	
1	イ 劇場、映画館、観覧場等					
	ロ 公会堂、集会場	30	1	6	1	38
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等					
	ロ 遊技場、ダンスホール	6				6
	ハ 性風俗店舗等					
	ニ カラオケボックス、個室ビデオ等	3				3
3	イ 待合、料理店等	2		1		3
	ロ 飲食店	31	1	58	2	92
4	百貨店、マーケット等	155	2	66	1	224
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	30				30
	ロ 寄宿舍、共同住宅等	47				47
6	イ 病院、診療所等	45		3		48
	ロ 老人短期入所施設、重症心身障害児施設等	65				65
	ハ 老人デイサービスセンター、児童養護施設等	29		7		36
	ニ 幼稚園、特別支援学校	13				13
7	小中高等学校、大学等	102		1		103
8	図書館、博物館等	4				4
9	イ 蒸気、熱気浴場					
	ロ イ以外の浴場	1				1
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場	2				2
11	神社、寺院、教会等	11		5		16
12	イ 工場、作業場	16				16
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫、駐車場					
	ロ 飛行機格納庫	2				2
14	倉庫	2				2
15	各号に該当しない事業所	101		27	1	129
16	イ 複合用途	170	45	8	3	226
	ロ イ以外の複合用途	126	2			128
17	重要文化財					
合計		993	51	182	8	1,234

### 13. 危険物施設の許認可状況

令和4年度

許可別 製造所等の別		許 可		完 成 検 査		仮使用	廃 止
		設置	変更	設置	変更		
製 造 所			1		1	1	
貯 蔵 所	屋内貯蔵所		2	2	2	2	1
	屋外タンク貯蔵所		1		1	1	
	屋内タンク貯蔵所		1	1			1
	地下タンク貯蔵所	3	1	3	1	1	1
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	13	1	13	1		3
	屋外貯蔵所		2		1	2	
小 計		16	9	19	7	7	6
取 扱 所	給油取扱所		7		7	6	2
	販売取扱所						
	一般取扱所	1	8	2	9	9	
小 計		1	15	2	16	15	2
合 計		17	24	21	23	22	8

### 14. 年度別危険物施設数の推移

製造所等の別		年 度					
		29	30	1	2	3	4
製 造 所		2	2	2	2	2	2
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	64	64	63	61	60	61
	屋外タンク貯蔵所	50	49	48	50	48	48
	屋内タンク貯蔵所	7	7	7	7	7	7
	地下タンク貯蔵所	58	58	56	51	52	54
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	94	96	102	98	100	110
	屋外貯蔵所	19	19	19	18	17	17
小 計		294	295	297	287	286	299
取 扱 所	給油取扱所	56	57	55	57	58	56
	販売取扱所	2	2	2	2	2	2
	一般取扱所	55	57	56	54	46	48
小 計		113	116	113	113	106	106
合 計		407	411	410	400	392	405

火 災 関 係

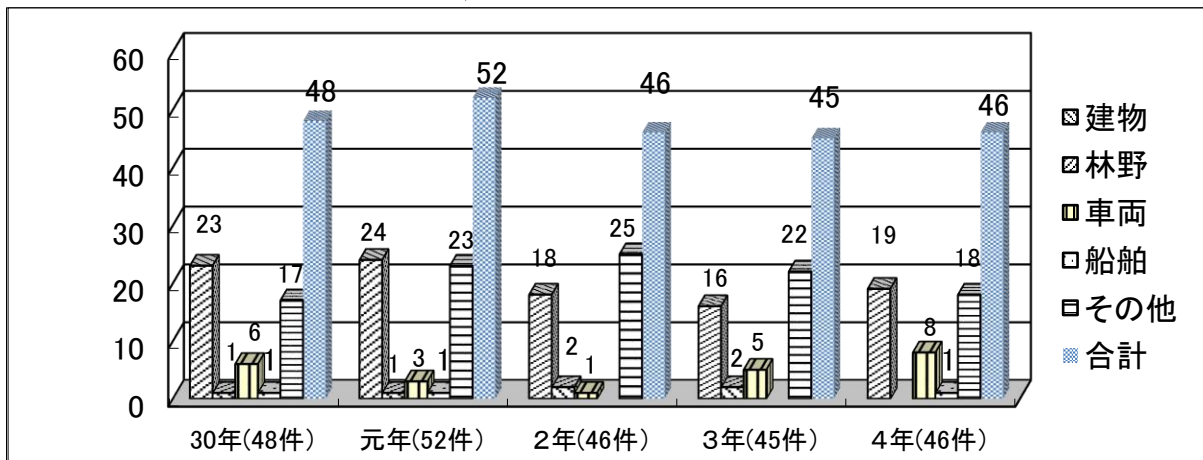
### 15. 出火原因別火災発生状況

令和4年

原因別	火災種別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
放火						2	2
放火の疑い	4					5	9
たき火	2					7	9
火遊び							
こんろ	1						1
たばこ	2					2	4
電灯線等の配線	5		1			1	7
風呂・かまど							
マッチ・ライター							
ストーブ	1						1
煙突・煙道							
その他	4		7			1	12
不明				1			1
合計	19		8	1		18	46

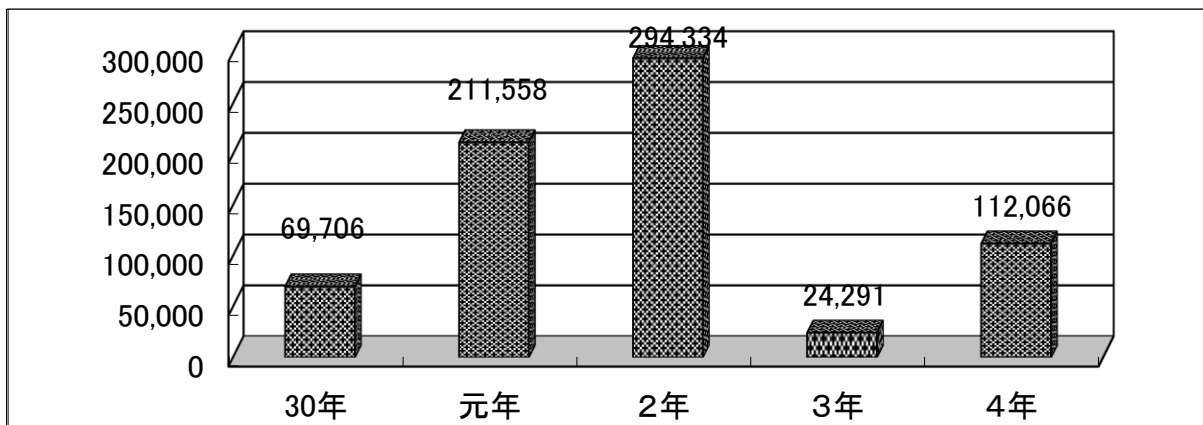
### 16. 年次別火災発生件数

(件)



### 17. 年次別火災損害額

(千円)



# 18. 月別火災発生状況

令和4年

区分 月別	火災件数						建物火災における焼損棟数					り災世帯	り災者数	死者数	負傷者数	焼損面積等					損害額(千円)									
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや					合計	建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)	車両(台)	船舶	航空機	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計		
合計	19		8	1		18	46	17	8	18	13	56	38	85	1	7	1,420		8	1			132,052		2,607					134,659
1月	3					6	9	12	3	4	4	23	16	32	1	2	593.09						66,233						66,233	
2月	3					2	5	3	2	4	3	12	9	24		4	287.3						31,028						31,028	
3月			1				1												1					1,726					1,726	
4月			1				1												1					69					69	
5月	2					2	4		1		1	2	2	3		1	28.38						1,218						1,218	
6月	1						1	1		6	1	8	6	14			129.18						18,229						18,229	
7月	1		1				2						1	1						1										
8月	1		2			1	4			1		1								2			2,787	462					3,249	
9月	3		1	1		2	7	1	1	2	1	5	2	6			339.13		1	1			12,405	350					12,755	
10月	2		1			1	4				2	2	1	2						1			152						152	
11月	2					4	6		1		1	2	1	3			42.72													
12月	1		1				2			1		1								1										

※建物の焼損面積は、焼損床面積となります。

### 19. 曜日別・時間別火災発生状況

令和4年

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	合計
	3	9	3	7	5	8	11	46
0～								
1～		1						1
2～								
3～						1		1
4～		1						1
5～				1				1
6～								
7～				1				1
8～						1		1
9～			1	2		1	2	6
10～					1	1	1	3
11～	1	2		1	1		2	7
12～	1	1				1	2	5
13～		1						1
14～					1		2	3
15～							1	1
16～		1				1		2
17～			1	1	1			3
18～							1	1
19～	1	1				1		3
20～				1		1		2
21～		1	1					2
22～								
23～					1			1
不明								

### 20. 署所別火災発生率

令和4年

管内	建物		林野		車両		船舶		航空機		その他		合計	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
本署	8	42					1	100			3	17	12	26
富来田	1	5									2	11	3	7
金田					1	13					3	17	4	9
高柳	1	5			1	13					1	6	3	7
波岡	2	11			3	37					5	28	10	22
清川	7	37			3	37					4	22	14	30
合計	19	100			8	100	1	100			18	100	46	100

## 21. 火災による死傷者状況(平成25年から令和4年まで)

### 年別死傷者数

区分	年										
	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	合計
死者数	3	6	6	3	3	1	3	2	1	1	29
負傷者数	4	9	6	5	4	4	7	4	5	5	53

### 死者の時間別発生状況

時間別	0時～	3時～	6時～	9時～	12時～	15時～	18時～	21時～	不明	合計
死者数	4	5	2	6	1	2	3	4	2	29

### 死者の発生した火災種別

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	18		4			7	29

### 死者の年齢別発生状況

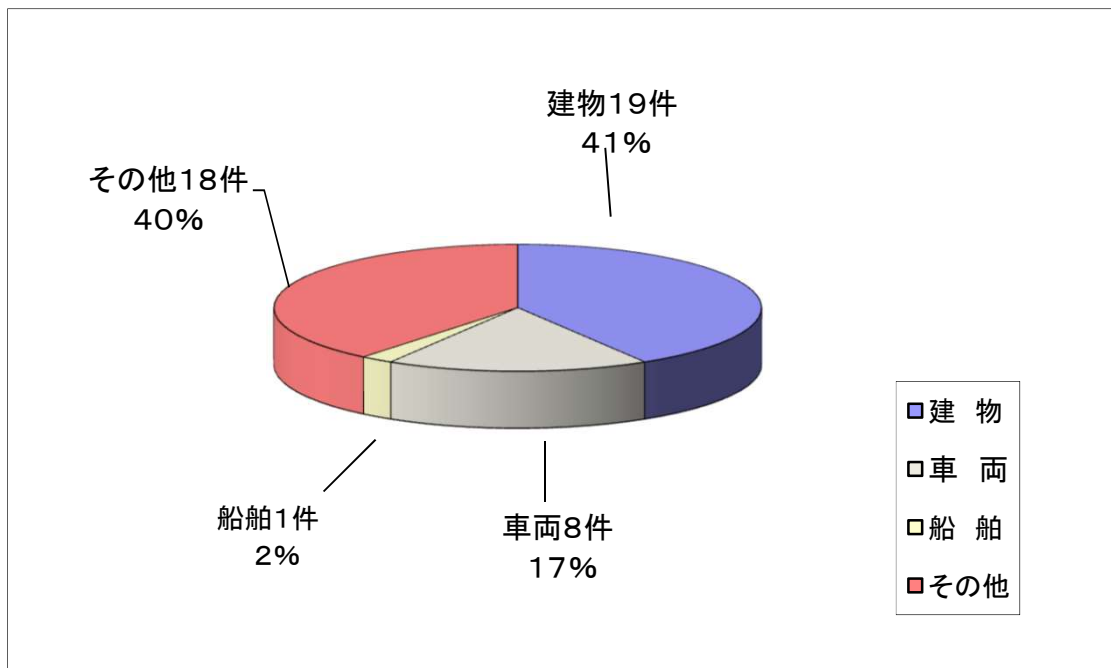
区 分	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計
男			1	3	2	2		5	6	19
女	1		1		1	2	1	1	3	10
合 計	1		2	3	3	4	1	6	9	29

### 死者の発生した経過及び理由

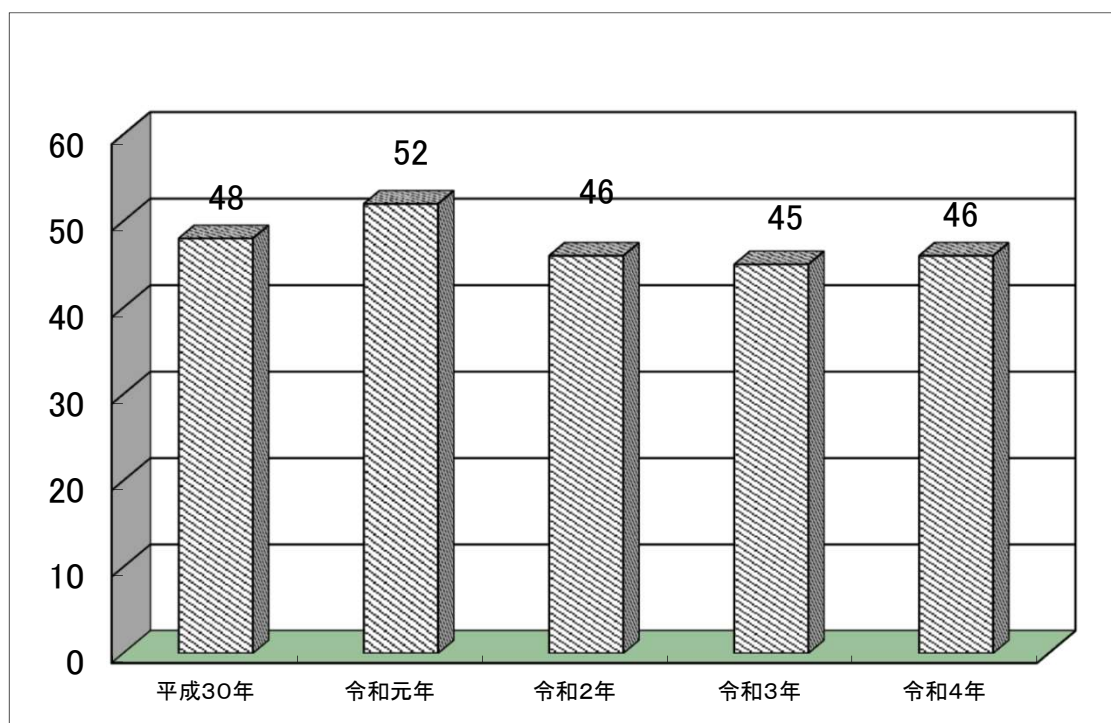
区分	年										
	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	合計
延焼が早かったため避難ができなかったと思われるもの	2	4		2							8
熟睡のため逃げ遅れたと思われるもの	1	1			2						4
体力的条件が悪く避難できなかったと思われるもの			1							1	2
放火自殺		1	2	1	1	1	1	2	1		10
その他			3				2				5
合 計	3	6	6	3	3	1	3	2	1	1	29

## 22. 火災件数に対する種別割合

令和4年



## 23. 年別の火災件数





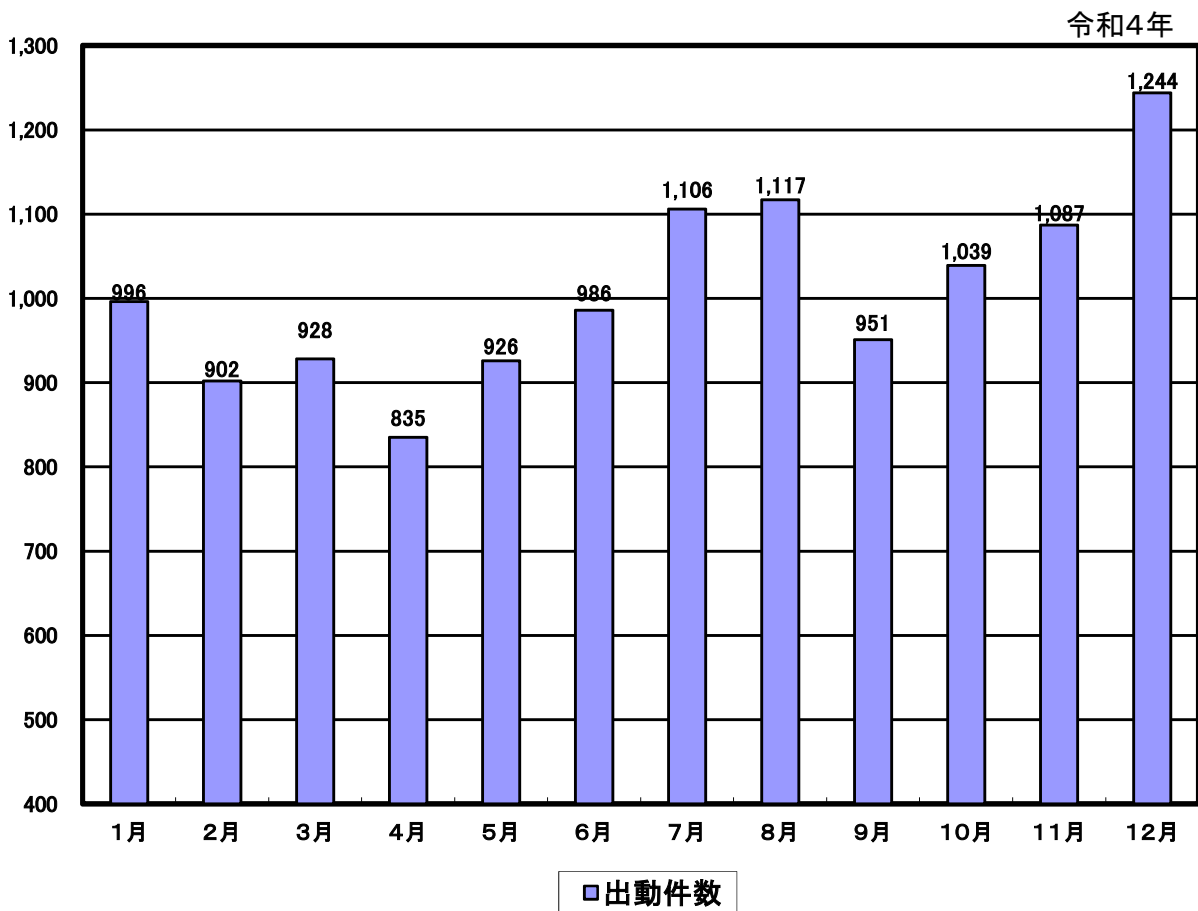
警 防 関 係

## 24. 消防の出動状況

令和4年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	回数	10	7	1	1	4	1	1	3	6	2	5	3	44
	台数	52	47	8	6	25	8	7	18	42	12	16	17	258
	延人員	179	145	25	21	77	24	23	54	128	35	50	61	822
救 急	回数	669	584	624	602	634	663	751	815	628	679	629	794	8,072
	台数	669	584	624	602	634	663	751	815	628	679	629	794	8,072
	延人員	2,007	1,752	1,887	1,806	1,902	1,989	2,253	2,445	1,884	2,034	1,881	2,382	24,222
救助・捜索	回数	26	17	9	5	9	17	12	21	16	15	17	13	177
	台数	75	61	18	15	23	51	31	47	63	43	34	46	507
	延人員	250	195	55	51	72	170	102	148	194	135	115	147	1,634
風 水 害	回数	0	0	0	1	0	2	11	3	1	0	0	0	18
	台数	0	0	0	1	0	2	11	3	1	0	0	0	18
	延人員	0	0	0	3	0	6	37	10	4	0	0	0	60
演習訓練	回数	43	53	9	43	35	46	70	42	46	100	97	128	712
	台数	43	53	9	44	37	46	71	42	50	102	97	132	726
	延人員	117	142	27	150	118	122	199	109	133	310	292	377	2,096
広 報	回数	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	7	1	16
	台数	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	7	1	16
	延人員	0	0	21	0	3	0	0	0	0	0	11	3	38
警防調査	回数	75	121	112	84	115	110	93	87	120	68	112	82	1,179
	台数	75	127	112	99	121	117	97	88	133	77	120	85	1,251
	延人員	217	383	338	291	363	345	287	255	394	229	361	252	3,715
特別警戒	回数	0	0	0	0	0	0	14	6	0	0	0	7	27
	台数	0	0	0	0	0	0	15	6	0	0	0	7	28
	延人員	0	0	0	0	0	0	45	19	0	0	0	23	87
偵 察	回数	5	7	4	3	13	10	4	4	10	4	14	8	86
	台数	5	9	4	3	13	10	4	4	10	4	14	11	91
	延人員	15	27	13	9	42	33	13	12	35	13	45	35	292
漏油処理	回数	1	1	1	1	3	4	4	1	2	9	6	7	40
	台数	2	1	1	1	4	4	8	1	2	11	6	7	48
	延人員	7	3	3	4	12	14	26	3	6	34	19	22	153
火災原因調査	回数	12	2	0	1	7	4	3	5	9	7	4	1	55
	台数	12	2	0	1	7	4	4	5	9	7	4	1	56
	延人員	36	6	0	3	21	13	13	20	31	23	10	4	180
予防査察	回数	18	3	0	2	4	16	12	2	8	8	9	36	118
	台数	18	3	0	2	4	16	12	2	8	8	9	38	120
	延人員	61	8	0	5	10	34	23	4	16	16	25	106	308
その他 (救急支援・ 誤報・火災 外等)	回数	137	107	161	92	101	113	131	128	105	147	187	164	1,573
	台数	169	130	156	105	131	137	154	191	136	192	228	182	1,911
	延人員	536	411	496	364	402	413	471	587	423	588	711	568	5,970
合 計	回数	996	902	928	835	926	986	1,106	1,117	951	1,039	1,087	1,244	12,117
	台数	1,120	1,017	939	879	1,000	1,058	1,165	1,222	1,082	1,135	1,164	1,321	13,102
	延人員	3,425	3,072	2,865	2,707	3,022	3,163	3,492	3,666	3,248	3,417	3,520	3,980	39,577

## 25. 消防の月別出動状況



## 26. 火災出動状況

令和4年

区分 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災件数	9	5	1	1	4	1	2	4	7	4	6	2	46
出動件数	10	7	1	1	4	1	1	3	6	2	5	3	44
出動台数	52	47	8	6	25	8	7	18	42	12	16	17	258
放水台数	23	19	0	2	6	3	2	4	13	3	5	4	84
出動延人員	179	145	25	21	77	24	23	54	128	35	50	61	822

## 27. 応援協定等

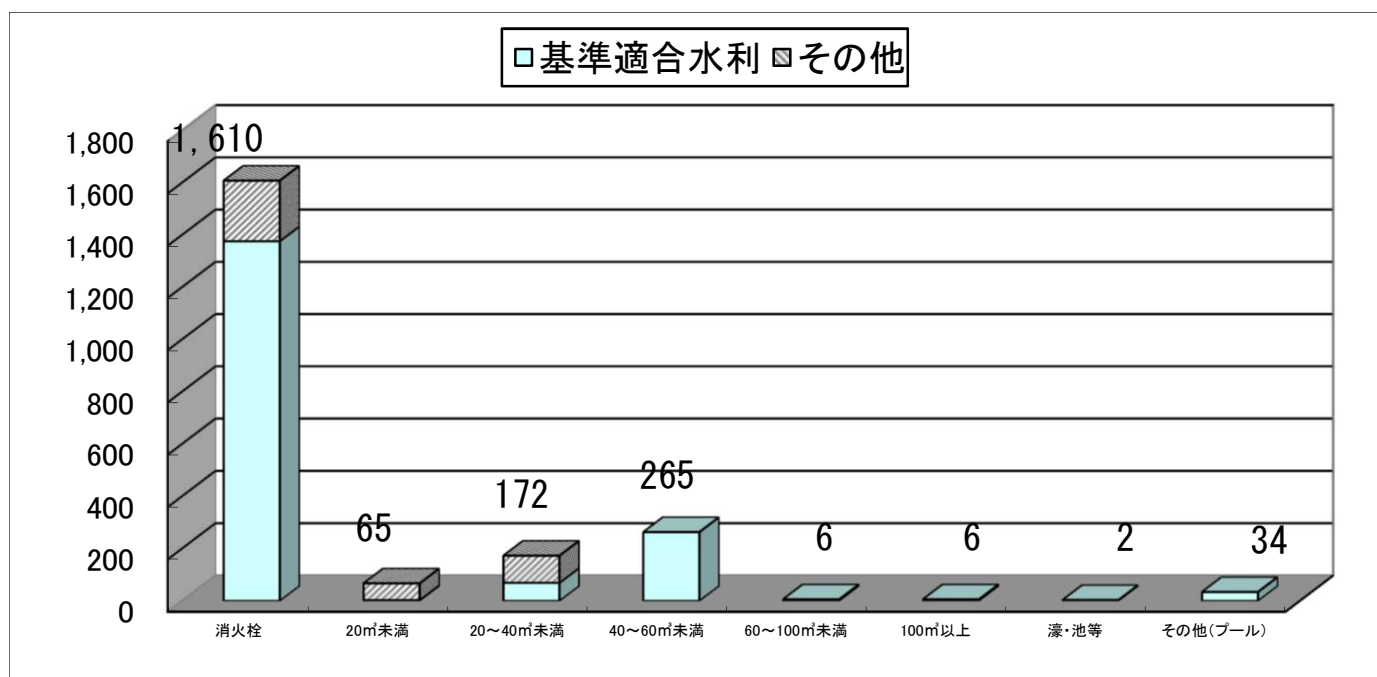
協定名	締結年月日	協定内容
千葉県広域消防相互応援協定	昭和40年7月19日	千葉県下全市町村及び一部事務組合が、大規模災害、産業災害その他災害の予防、鎮圧等に万全を期し、併せて市民の安定を図るため相互応援体制を確立し、不足の事態に対処するための協定 (千葉県下全市町村事務組合)
	改正昭和60年4月1日	団体名の変更及び一部の事務組合の結成等による改正
	改正平成4年4月1日	団体名の変更及び一部の事務組合の結成等並びにヘリコプターによる航空特別応援が新たに加わったことによる改正
	改正平成15年3月25日	一部改正及び火災調査等特別応援が新たに加わったことによる改正
	改正平成18年8月22日	消防組織法の改正に伴う、条の移動による改正
ちば消防共同指令センターにおける千葉県広域消防相互応援協定書第2条第1号に定める普通応援の運用に係る覚書	平成25年3月29日	ちば消防共同指令センター運用開始に伴う隣接市町村間での応援出動に係る覚書
木更津海上保安署と消防機関との業務協定	昭和46年6月1日	木更津市が管轄する沿岸、海上における船舶の火災について、双方が協力して円滑な消火活動を行うための協定 (木更津海上保安署、木更津市)
化学消火薬剤の備蓄管理に関する協定書	昭和52年11月1日	危険物等に起因する火災を鎮圧するため、千葉県が購入した化学消火剤の備蓄及び管理の委託に関する協定 (千葉県、木更津市)
	改正昭和57年10月31日	期間変更による改正
陸上自衛隊木更津飛行場周辺で航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡・調整に関する協定書	昭和54年4月3日	陸上自衛隊木更津飛行場周辺で航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡・調整に関する協定を締結 (陸上自衛隊第1ヘリコプター団、木更津市)
千葉県石油コンビナート防災相互通信無線設備の管理運営に関する協定書	昭和55年4月1日	千葉県石油コンビナート等特別防災区域の災害時における防災関係機関の相互通信連絡手段の整備充実を図るため、県が所有する防災相互無線設備の管理運営に関する協定 (千葉県、木更津市)
	改正平成25年10月1日	無線装備の台数増加による改正
都市ガス災害対策に関する申し合わせ書	昭和56年7月21日	都市ガスに起因する火災・爆発及び漏洩等の事故を未然に防止するとともに、災害が発生した場合これを早期に鎮圧し、被害を最小限に防止するための申し合わせ (東京瓦斯株式会社千葉支社、木更津市)
館山自動車道消防相互応援協定	平成7年4月26日	協定区域において火災、救急事故及びその他の災害が発生した場合に消防隊、救急隊その他の人員資機材を出場させるための協定 (千葉市、市原市、袖ヶ浦市、君津市、木更津市)
	改正平成8年3月28日	木更津JCTから湾横連絡道までの区間供用開始に伴う改正
	改正平成15年4月29日	木更津JCTから君津ICまでの区間供用開始に伴う改正及び君津市が新規加入
	改正平成19年7月4日	君津JCTから富津中央ICまでの区間供用開始に伴う改正及び富津市が新規加入

協定名	締結年月日	協定内容
救急救命処置に関する協定	平成7年12月28日	君津市、富津市、袖ヶ浦市及び君津郡市中央病院組合と救急救命士法に規定する医師の具体的指示及び救急救命処置に必要な情報交換に関する協定 (君津市、富津市、袖ヶ浦市、君津郡市中央病院組合、木更津市)
	改正平成16年2月26日	救急救命士の処置拡大により包括的指示下での除細動が可能になったこと、国の中央省庁変革により字句の変更による改正
	改正平成16年9月16日	救急救命士の処置拡大により、医師の具体的な指示下での気管挿管が可能になり、これに伴い病院実習で気管挿管の実症例30症例以上の成功症例を終えた救急救命士を認定するために改正
	改正平成18年6月26日	救急救命士の処置拡大により、医師の具体的な指示下での薬剤投与が可能になり、これに伴い必要な講習・実習を終了した救急救命士を認定するために改正
東京湾アクアライン連絡道消防相互応援協定	平成9年10月30日	協定区域において火災、救急事故及びその他の災害が発生した場合に協定市及び日本道路公団の消防力を活用して災害による被害を軽減させるための協定 (袖ヶ浦市、木更津市)
	改正平成18年7月11日	消防組織法が改正され、条の移動による改正
	改正平成27年2月1日	浮島インターチェンジの木更津市消防本部受け持ち区域変更による改正
東京湾アクアラインの消防活動対策に関する協定書	平成9年11月28日	東京湾アクアラインのトンネル内での火災等の災害が発生した場合に、消火、救助及び救急活動を迅速に展開し、被害の軽減を図るために必要な消防活動資機材の整備、使用及び管理に関する事項についての協定 (川崎市、(財)川崎市消防防災指導公社、木更津市)
東京湾アクアライン消防相互応援協定	平成9年12月1日	東京湾アクアラインにおいて、火災、救急事故等の災害が発生した場合に双方の消防力を相互に活用して災害による被害を最小限度に防止するための協定 (川崎市、木更津市)
	改正平成18年6月23日	消防組織法が改正され、条の移動による改正
海上保安庁木更津海上保安署との輸送の支援に関する申し合わせ	平成28年8月10日	木更津市消防本部から海上保安庁木更津海上保安署へ傷病者、消防職員及び資器材等の輸送の支援に関する申し合わせ (木更津海上保安署、木更津市)
木更津IC～松尾横芝IC 首都圏中央連絡自動車道消防相互応援協定書	平成25年4月27日	協定区域において、火災、救急事故等の災害が発生した場合に双方の消防力を相互に活用して災害による被害を軽減するための協定 (千葉市、木更津市、市原市、長生郡市広域市町村組合、山武郡市広域行政組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合)
	改正平成31年3月8日	大網白里スマートICの開通による長生郡市広域市町村組合及び山武郡市広域行政組合の出場区域の変更による改正
	改正令和2年2月14日	出場区域の変更により、木更津東～IC松尾横芝ICを木更津IC～松尾横芝IC区間に変更をしたため改正(千葉市、木更津市、市原市、袖ヶ浦市、長生郡市広域市町村組合、山武郡市広域行政組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合)
鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定書	平成21年3月31日	鉄道災害が発生し、又は発生するおそれのある場合、千葉県内の消防本部(局)と鉄道軌道事業者との相互連携により、安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図るための協定 (千葉県下全市町村事務組合、全鉄道軌道事業所)
	改正平成23年4月1日	千葉県の組織改変

協定名	締結年月日	協定内容
災害時における消防用水等の確保に関する協定書	平成30年11月20日	協定区域において、火災、風水害等の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、消防用水等の供給の協力要請について、適切かつ円滑な運営を期するための協定 (千葉アクア生コンクリート協同組合、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市)
船舶火災における消火等の協力に関する協定書	令和元年7月22日	木更津市のふ頭又は岸壁に係留された船舶の火災及び木更津港湾区域に隣接した建物火災等における消火協力業務に関し、適切かつ円滑な運営を期するための協定 (株式会社新日本海洋社君津支店、木更津市)
新型コロナウイルス感染症患者等の移送に関する協定書	令和3年1月31日	患者の症状から救急搬送が適当である場合や同一保健所管内で同時に複数の患者等が発生するなど、千葉県健康福祉部の移送能力を超える事態が生じた場合において木更津市消防本部の協力を受け、円滑に患者等を移送し、感染症のまん延防止を図るための協定 (千葉県健康福祉部、県内の消防[局]本部〔千葉市消防局、船橋市消防局及び柏市消防局を除く〕)
救急救命士気管挿管に関する病院実習協定書	令和4年2月16日	君津市、富津市、袖ヶ浦市及び君津中央病院企業団と救急救命士に対する気管挿管に関する病院実習のために必要な事項を定めた協定 (木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、君津中央病院企業団)

## 28. 消防水利施設

令和5年4月1日現在  
(基準適合水利数 計1,772箇所)



	消火栓		防火水槽										壕・池	その他 (プール)	合計
			20㎡未満		20~40㎡未満		40~60㎡未満		60~100㎡未満		100㎡以上				
	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理	管理外	管理外	管理外	
基準適合水利	1,381	6	3	—	67	2	172	93	1	5	2	4	2	34	1,772
基準適合水利以外	207	16	60	2	98	5	—	—	—	—	—	—	—	—	388
合計	1,588	22	63	2	165	7	172	93	1	5	2	4	2	34	2,160

※ 管理とは、消防本部で管理している消防水利をいう。

※ 管理外とは、私設及び消防管理外の消防水利をいう。

※ 基準適合水利とは、消防水利の基準(昭和39年12月10日、消防庁告示第7号)第3条の規定に適合したものをいう。

充足率 85.3%(令和4年度消防施設整備計画実態調査メッシュ法により算出)

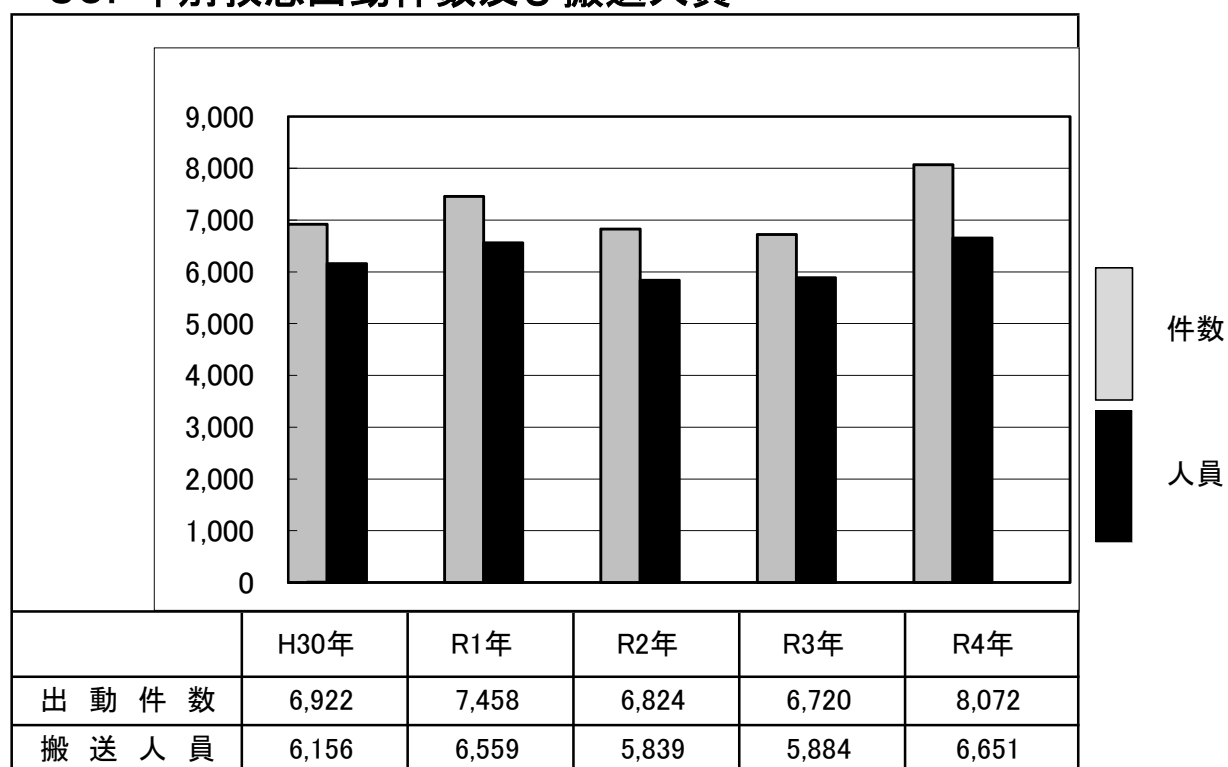
# 救急・救助関係



## 29. 年別事故種別出動件数及び搬送人員

年	事故種別 出動件数	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災害	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
H 30 年	出動件数	30	1	2	688	52	38	886	43	65	4,150	967	6,922
	搬送人員	4			724	51	38	803	35	43	3,651	807	6,156
R 1 年	出動件数	24	6	6	637	46	35	1,033	52	95	4,456	1,068	7,458
	搬送人員	5	4	2	640	46	33	939	37	64	3,896	893	6,559
R 2 年	出動件数	15		8	552	60	18	929	48	79	4,130	985	6,824
	搬送人員	2		3	529	60	20	839	34	48	3,506	798	5,839
R 3 年	出動件数	15	1	7	530	47	27	979	34	77	4,036	967	6,720
	搬送人員	5	1	6	533	47	26	870	27	40	3,537	792	5,884
R 4 年	出動件数	28	0	9	543	52	50	1,083	24	60	5,182	1,041	8,072
	搬送人員	5	0	4	537	49	50	940	14	38	4,151	863	6,651

## 30. 年別救急出動件数及び搬送人員





### 32. 時間別出動件数

令和4年

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0 ~ 2				19			32	4	5	266	37	363
2 ~ 4	1			8			23	2	1	250	29	314
4 ~ 6	5		1	4	2		36	1	4	220	23	296
6 ~ 8			1	42	5	1	74	1	2	443	19	588
8 ~ 10	3			64	3	6	126	2	11	599	120	934
10 ~ 12	5		1	71	15	13	134		7	583	176	1,005
12 ~ 14	2		2	62	3	9	124	1	5	547	177	932
14 ~ 16	4		3	75	8	5	137		5	489	131	857
16 ~ 18	3			82	7	10	136	1	7	509	147	902
18 ~ 20	1			63	4	2	121	3	4	522	80	800
20 ~ 22	3		1	31	4	4	95	6	4	437	52	637
22 ~ 24	1			22	1		45	3	5	317	50	444
合 計	28		9	543	52	50	1,083	24	60	5,182	1,041	8,072

### 33. 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別	応急処置		対象人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆
	傷病程度						うち自動	うち自動	※1	※2		※3	※4				
急病	死亡	135		1	2			122	5	127	126	1	3	56		1	
	重症	108		2	6	1		19	1	77	39			5		5	
	中等症	1448		10				1		507	33	1	2			6	9
	軽症	2459	16	19						142	7					3	6
	その他																
計	4,150	16	32	8	1		142	6	853	205	2	5	61		15	15	
交通事故	死亡	3	1	3				3		3	3						
	重症	8		7						6							1
	中等症	41	6	19						11						1	9
	軽症	483	8	105						4						1	78
	計	535	15	134				3		24	3					2	88
一般負傷	死亡	9		1				9		9	9		1	2			
	重症	12		4	2			4		9	6		2	2			1
	中等症	228	10	60						24	2		1			1	18
	軽症	691	75	44						13	2		1			1	198
	計	940	85	109	2			13		55	19		5	4		2	217
その他	死亡	11			1			10		11	11			2			
	重症	27	1	5	2			2		18	5			1		1	
	中等症	877	3	30						171	5					1	10
	軽症	107	8	14						3						1	15
	計	1,023	12	49	3			12		203	21			3		3	25
合計	死亡	158	1	5	3			144	5	150	149	1	4	60		1	
	重症	155	1	18	10	1		25	1	110	50		2	8		6	2
	中等症	2,594	19	119				1		713	40	1	3			9	46
	軽症	3,740	107	182						162	9		1			6	297
	計	6,648	128	324	13	1		170	6	1,135	248	2	10	68		22	345

- ※1 経鼻エア－ウェイ
- ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
- ※3 ラリングアルマスク等
- ※4 気管挿管

不処置人員 3人

在宅療	在宅療法継続			除細動	静脈路保	薬剤投与	その他処置	血圧測定	聴診器での心音	呼吸音等の聴取	血中酸素飽和度	の測定	心電図	うち伝送	血糖測定	エピペン投与	ブドウ糖投与	合計	
	※A	※B	※C																
1			1	5	13	10	122	10	58	9	130							737	
				10	6	3	104	92	48	94	101				2			609	
31	1		30				1,448	1,425	531	1,446	1,063				16			6,526	
16			16		2		2,459	2,263	442	2,453	924				15		1	8,768	
48	1		47	15	21	13	4,133	3,790	1,079	4,002	2,218				33		1	16,640	
				1			1				3							18	
							8	8	5	8	5							48	
							41	41	19	41	20							208	
							482	470	102	481	22							1,753	
				1			532	519	126	530	50							2,027	
						1	9		4		9							51	
							10	8	4	9	9							66	
1			1				228	225	30	227	60							886	
4			4				691	614	51	681	68							2,442	
5			5			1	938	847	89	917	146							3,445	
				1	2	2	9	2	4	2	11							66	
							25	24	7	26	20							136	
3	1		2				875	862	64	875	437							3,336	
							107	106	12	107	13							386	
							1	1		1	1							4	
3	1		2	1	2	2	1,017	995	87	1,011	482							3,928	
1			1	7	15	13	141	12	66	11	153							872	
				10	6	3	147	132	64	137	135				2			859	
35	2		33				2,592	2,553	644	2,589	1,580				16			10,956	
20			20		2		3,739	3,453	607	3,722	1,027				15		1	13,349	
							1	1		1	1							4	
56	2		54	17	23	16	6,620	6,151	1,381	6,460	2,896				33		1	26,040	

※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が実施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数  
 ※B 気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数  
 ※C ※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数

### 34. 月別出動件数及び搬送人員

令和4年

月	事故種別 出動 件数	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
		災	災	難	通	災	競	負		行		他	
1	出動件数	4		1	31	1	2	90	3	4	425	108	669
	搬送人員			1	37	1	2	70	2	2	351	89	555
2	出動件数	6		1	30	4	3	67	2	4	394	73	584
	搬送人員	4		1	29	4	3	59		4	318	61	483
3	出動件数	1		1	33	8	2	93		3	404	79	624
	搬送人員				33	7	2	80		2	335	65	524
4	出動件数	1		1	45	4	6	78	2	5	375	85	602
	搬送人員				46	4	6	69	1	4	304	71	505
5	出動件数	2			51	6	8	82		3	389	93	634
	搬送人員	1			60	6	8	79		2	338	82	576
6	出動件数	1		2	59	6	6	99	1	5	400	84	663
	搬送人員			2	46	6	6	86	1	2	337	72	558
7	出動件数	2			40	2	2	98	5	4	519	79	751
	搬送人員				39	1	2	86	3	2	423	65	621
8	出動件数	4			40	5	1	92	3	11	579	80	815
	搬送人員				42	4	1	84	2	6	416	59	614
9	出動件数	4			41	5	3	71	1	7	422	74	628
	搬送人員				44	5	3	62		5	325	65	509
10	出動件数	1		1	46	5	5	107	2	2	414	96	679
	搬送人員				42	5	5	90	2	1	344	79	568
11	出動件数			1	66	5	7	87	2	6	368	87	629
	搬送人員				62	5	7	73	1	2	292	67	509
12	出動件数	2		1	61	1	5	119	3	6	493	103	794
	搬送人員				57	1	5	102	2	6	368	88	629
計	出動件数	28		9	543	52	50	1,083	24	60	5,182	1,041	8,072
	搬送人員	5		4	537	49	50	940	14	38	4,151	863	6,651

### 35. 月別各署出動件数

令和4年

月	救急隊	事故種別										合計	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		その他
1	本署	1			8	1		31	3	1	153	37	235
	清川分署				8		1	21		1	103	16	150
	富来田分署	1			2			3			28	4	38
	金田分署	2		1	9			14		2	55	18	101
	波岡分署				4		1	21			86	33	145
2	本署	1			12	2		18	1	2	131	34	201
	清川分署	3			8	2	2	16			97	9	137
	富来田分署				1			5		1	27	6	40
	金田分署	1		1	3			13	1		64	6	89
	波岡分署	1			6		1	15		1	75	18	117
3	本署	1			13	5	1	29			136	30	215
	清川分署			1	10	1	1	20		2	82	7	124
	富来田分署					1		9		1	25	6	42
	金田分署				4			20			68	10	102
	波岡分署				6	1		15			93	26	141
4	本署			1	13	1	2	27		3	125	26	198
	清川分署				13	2	3	12	1	1	82	15	129
	富来田分署				5			2			31	2	40
	金田分署				7			17	1		59	19	103
	波岡分署	1			7	1	1	20		1	78	23	132
5	本署	1			22	4	2	21		2	113	34	199
	清川分署	1			13		3	19		1	94	11	142
	富来田分署				3		1	8			29	4	45
	金田分署				3	1		15			73	15	107
	波岡分署				10	1	2	19			80	29	141
6	本署			1	16	2	1	31		3	127	39	220
	清川分署				11	2	1	16	1		89	16	136
	富来田分署				4			10			21	3	38
	金田分署			1	14	2	2	19			79	8	125
	波岡分署	1			14		2	23		2	84	18	144
7	本署	1			10			30	2	1	138	25	207
	清川分署				9		2	29	2	1	104	16	163
	富来田分署				3	1		5			46	6	61
	金田分署	1			10	1		11		1	103	8	135
	波岡分署				8			23	1	1	128	24	185
8	本署				12	2		29	2	5	158	26	234
	清川分署				13	1		20		3	127	10	174
	富来田分署	1			4			7			49	3	64
	金田分署				5	2		20			115	20	162
	波岡分署	3			6		1	16	1	3	130	21	181
9	本署	1			22	3		22	1	3	126	31	209
	清川分署				5		2	19		1	90	10	127
	富来田分署				3	1		1			21	2	28
	金田分署	2			4	1	1	8		1	88	10	115
	波岡分署	1			7			21		2	97	21	149
10	本署			1	12	1		34			131	40	219
	清川分署				8	1	1	28	1	1	90	13	143
	富来田分署				3	2	1	4			20	2	32
	金田分署				12			22			75	21	133
	波岡分署	1			11	1		19	1	1	98	20	152
11	本署			1	18	1	3	34		3	122	40	222
	清川分署				20			21	1	2	69	17	130
	富来田分署				6	1		3			26	1	37
	金田分署				12	1	2	11		1	65	12	104
	波岡分署				10	2	2	18	1		86	17	136
12	本署				19	1	2	35		3	162	38	260
	清川分署	1			9		2	31	1	2	110	13	169
	富来田分署				4			8			38	2	52
	金田分署	1		1	13		1	21	1		90	16	144
	波岡分署				16			24	1	1	93	34	169
計	本署	6		4	177	23	11	341	9	26	1,622	400	2,619
	清川分署	5		1	127	9	18	252	7	15	1,137	153	1,724
	富来田分署	2			38	6	2	65		2	361	41	517
	金田分署	7		4	96	8	9	191	3	5	934	163	1,420
	波岡分署	8			105	6	10	234	5	12	1,128	284	1,792

### 36. 月別各署搬送人員

令和4年

月	事故種別 救急隊	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1	本署				8	1		25	2	1	128	30	195
	清川分署				11		1	17		1	80	9	119
	富来田分署				3			2			24	3	32
	金田分署			1	11			9			48	16	85
	波岡分署				4		1	17			71	31	124
2	本署	2			11	2		15		2	108	28	168
	清川分署	1			7	2	2	15			74	8	109
	富来田分署				1			4		1	23	5	34
	金田分署			1	3			12			56	4	76
	波岡分署	1			7		1	13		1	57	16	96
3	本署				12	5	1	27			117	21	183
	清川分署				9	1	1	16		1	68	6	102
	富来田分署							7		1	19	6	33
	金田分署				5			17			54	10	86
	波岡分署				7	1		13			77	22	120
4	本署				14	1	2	26		3	101	22	169
	清川分署				13	2	3	11	1	1	73	10	114
	富来田分署				6			2			22	1	31
	金田分署				7			13			43	17	80
	波岡分署				6	1	1	17			65	21	111
5	本署	1			22	4	2	21		1	96	31	178
	清川分署				16		3	18		1	86	9	133
	富来田分署				5			7			25	3	40
	金田分署				6	1		15			64	12	98
	波岡分署				11	1	3	18			67	27	127
6	本署			1	12	2	1	26		1	104	33	180
	清川分署				9	2	1	12	1		78	13	116
	富来田分署				4			9			15	2	30
	金田分署			1	11	2	2	18			66	7	107
	波岡分署				10		2	21		1	74	17	125
7	本署				9			24			117	18	168
	清川分署				9		2	28	2	1	92	15	149
	富来田分署				4			5			34	6	49
	金田分署				9	1		9			81	6	106
	波岡分署				8			20	1	1	99	20	149
8	本署				12	2		29	1	1	127	18	190
	清川分署				14			16		2	91	5	128
	富来田分署				4			7			37	1	49
	金田分署				5	2		19			74	17	117
	波岡分署				7		1	13	1	3	87	18	130
9	本署				26	3		18		3	101	28	179
	清川分署				4		2	19			71	8	104
	富来田分署				2	1		1			19	2	25
	金田分署				5	1	1	7		1	71	9	95
	波岡分署				7			17		1	63	18	106
10	本署				11	1		28			105	33	178
	清川分署				9	1	1	25	1	1	81	9	128
	富来田分署				3	2	1	4			17	1	28
	金田分署				11		3	19			64	17	114
	波岡分署				8	1		14	1		77	19	120
11	本署				14	1	3	30		1	90	31	170
	清川分署				22			18			60	13	113
	富来田分署				6	1		3			20		30
	金田分署				11	1	2	9		1	55	8	87
	波岡分署				9	2	2	13	1		67	15	109
12	本署				17	1	2	28		3	116	34	201
	清川分署				11		2	28	1	2	95	11	150
	富来田分署				3			8			32	2	45
	金田分署				11		1	19			68	14	113
	波岡分署				15			19	1	1	57	27	120
計	本署	3		1	168	23	11	297	3	16	1,310	327	2,159
	清川分署	1			134	8	18	223	6	10	949	116	1,465
	富来田分署				41	4	1	59		2	287	32	426
	金田分署			3	95	8	9	166		2	744	137	1,164
	波岡分署	1			99	6	11	195	5	8	861	251	1,437



### 37. 救助活動概要

救助活動は、火災、交通事故、自然災害等の救助事故にあたり、消防機関が要救助者を人力、機械器具等を用いて安全な場所に救出するための活動で、消防業務の中でも非常に重要な任務であります。本市では、今後発生が懸念される首都直下地震や集中豪雨等の大規模自然災害、また、化学剤・生物剤・放射性物質等による特殊災害への対応が求められていることから、消防力の更なる強化を図るため、令和5年3月に救助工作車Ⅲ型及び地中音響探知機、画像探索機等の高度救助資器材を整備し、同年7月に「高度救助隊」を発足しました。

救助隊は高度な知識と技術を有する隊員15名で構成されており、市民生活の安心と安全を確保するため日夜訓練を重ねております。

### 38. 救助隊員の構成

令和5年4月1日

年齢 階級	20才 以上	25才 以上	30才 以上	35才 以上	40才 以上	45才 以上	50才 以上
司令長							1
司令							2
司令補					1	2	
士長			1	1			
副士長		2					
消防士	5						

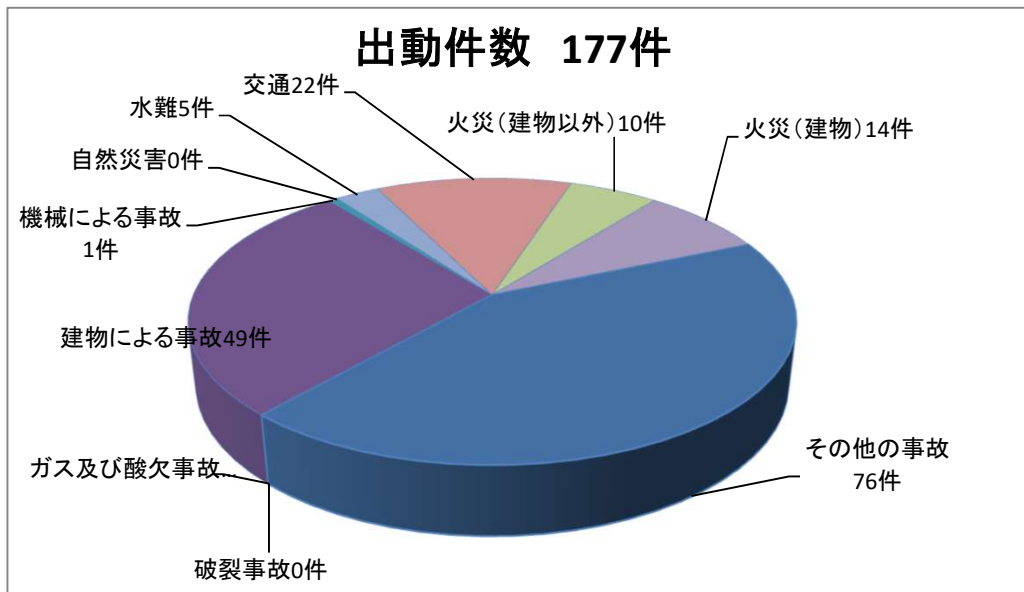
### 39. 救助隊員の訓練実施状況

令和4年

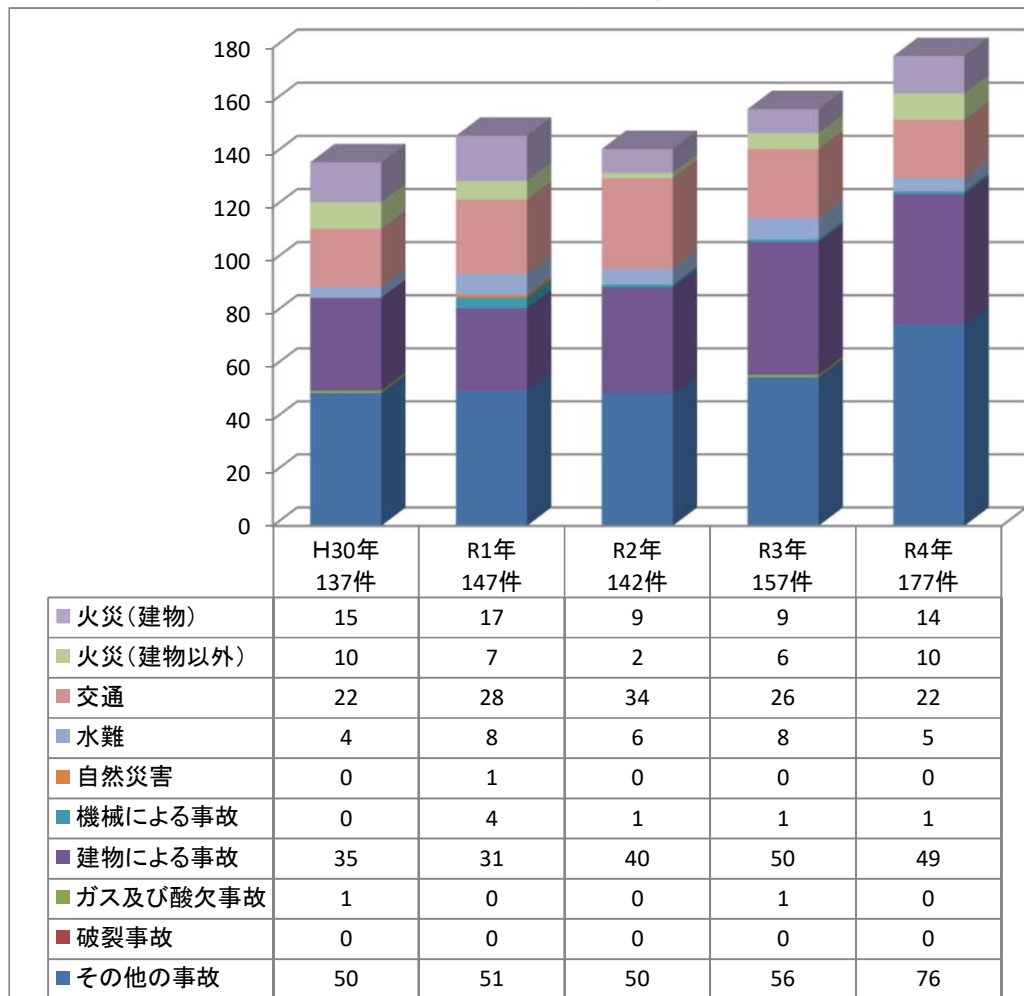
訓練種別	実施延回数	実施延人員	実施延時間	備考
体力錬成	96	408	137.0	柔軟・ウエイト・サーキットトレーニング
救助操法 器具取扱い訓練	262	1,256	308.0	基本及び応用操法・器具取扱い訓練
想定訓練	110	658	306.0	各種救助事象想定・検索・救助訓練
潜水訓練	11	51	19.0	スキン・スキューバ潜水検索訓練

## 40. 救助出動件数

令和4年

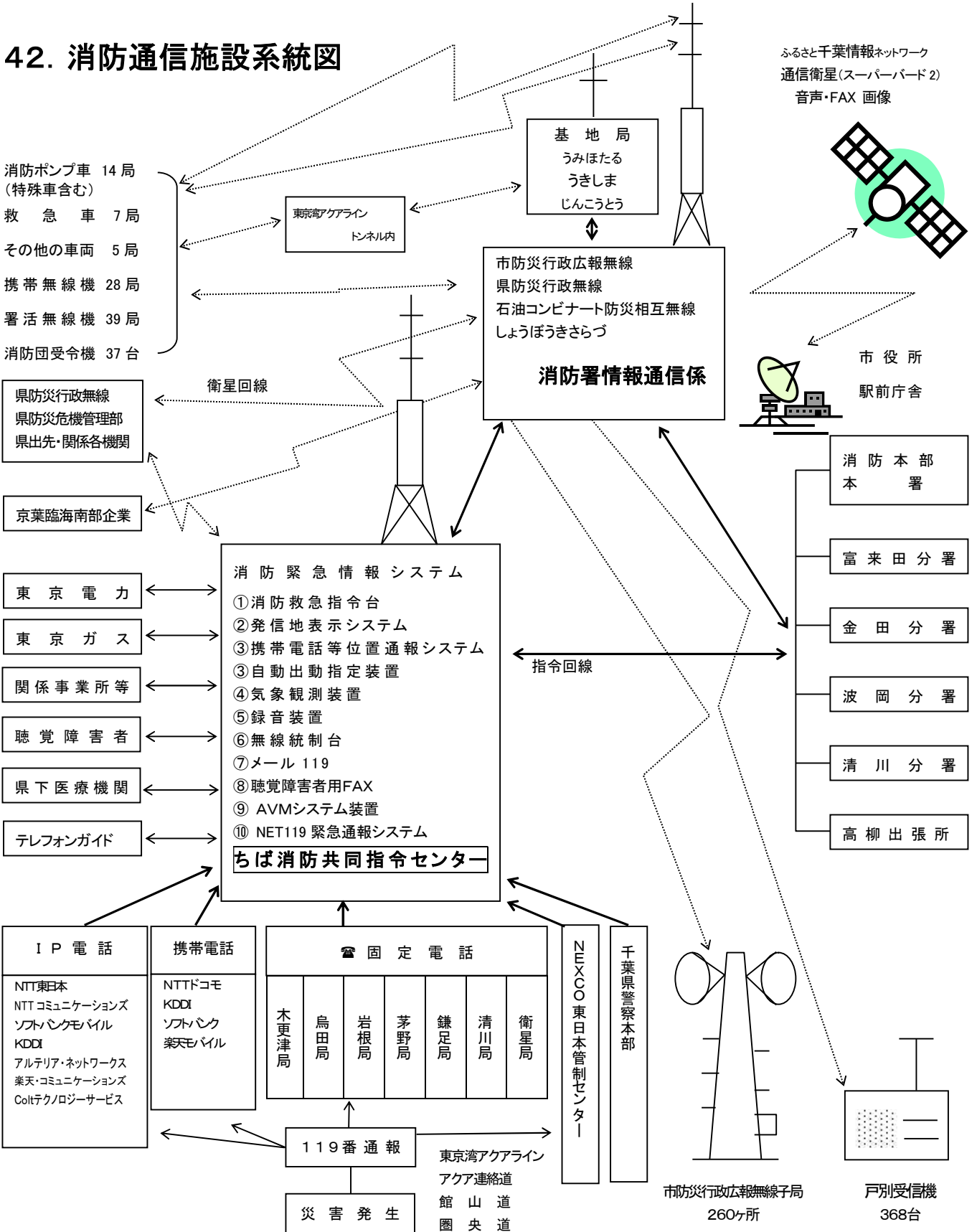


## 41. 過去5年間の事故別救助隊出動件数

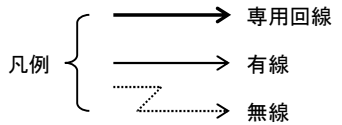


# 通信指令関係

# 42. 消防通信施設系統図



**ちば消防共同指令センター共同運用20消防本部**  
**木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市・千葉市・銚子市・成田市・旭市・市原市**  
**四街道市・富里市・栄町・安房郡市広域市町村圏事務組合・長生郡市広域市町村圏組合**  
**匝瑺市横芝町光町消防組合・山武郡市広域行政組合・香取広域市町村圏事務組合**  
**佐倉市八街市酒々井町消防組合・印西地区消防組合・夷隅郡市広域市町村圏事務組合**



### 43. 119番受付統計(覚知種別統計)

令和4年

回線区分等	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
119	固定	115	103	86	96	90	102	87	100	109	102	81	117	1,188
	携帯	474	403	447	460	455	508	835	690	491	486	488	597	6,334
	IP	273	195	235	204	243	232	290	287	217	275	235	301	2,987
加入	固定/IP	15	11	16	8	10	11	13	11	12	14	8	16	145
	携帯	2		3	2	8	9	10	10	3	4	9	3	63
警察電話		22	19	18	19	17	21	27	25	23	24	31	21	267
駆けつけ通報		3	3	4		3	4	14	3	2	2	2	2	42
事後聞知														
自己覚知				1	1							1	2	5
その他		3	2	5	2	9	10	29	1	7	5	9	7	89
隣接消防への119転送		1	1		1	1		4	4	1	6		4	23
<b>合計</b>		908	737	815	793	836	897	1,309	1,131	865	918	864	1,070	11,143

※1 1回の通報に対し複数回の指令を出す場合があるので、44表との合計には差異が生じます。

※2 回線区分等のその他は、ドクターヘリを無線要請する場合などの件数です。

※3 IP(Internet Protocol)電話は、電話通信ネットワークと電話端末との接続点において、IP技術を利用して提供する音声電話サービスです。

### 44. 119番受付統計(指令・切断統計)

令和4年

災害等	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災指令		18	14	2	6	10	6	8	22	15	12	13	7	133
救急指令		556	489	529	529	568	582	659	727	557	586	533	650	6,965
救助指令		24	12	6	2	5	16	9	14	7	9	14	10	128
その他災害指令		145	123	129	100	101	115	147	166	103	123	166	175	1,593
火災続報		17	15		1	2	10		6	19	9	2	2	83
救急続報		19	6	15	12	7	20	18	18	12	12	11	17	167
救助続報		4		1						1	1		3	10
その他続報		9	10	9	5	7	5	8	10	6	15	13	15	112
問合せ	火災	1								1		1	1	4
	救急	2	4	2	3	7	2	4	3	2	3	4	4	40
	病院	56	36	47	46	47	40	67	82	49	46	41	62	619
	その他	17	14	15	21	13	19	34	27	15	13	19	32	239
その他	いたづら	1	3	4	3		1	47		1	1	3	2	66
	無音	21	18	34	29	28	27	132	43	27	24	28	33	444
	間違い	43	30	39	36	44	63	109	59	60	48	50	58	639
	119試験	50	40	54	51	35	50	40	31	55	64	64	61	595
	FAX転送									1	1			2
	転送	1	1	1	3	4	3	11	8	2	6	1	5	46
	その他	15	4	4	15	9	15	36	13	18	13	15	11	168
<b>合計</b>		999	819	891	862	887	974	1,329	1,229	951	986	978	1,148	12,053

# 氣 象 関 係

## 45. 年別気象状況

年 別 区 分		24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4
		風 速	最 大 (m/s)	14.5	12.8	14.2	11.7	12.7	13.0	14.5	23.2	11.3
最大瞬間(m/s)	28.3		23.2	40.7	27.9	27.6	29.3	34.3	49.0	24.5	26.5	22.5
平 均 (m/s)	1.7		2.3	2.1	2.7	2.6	2.7	2.9	2.7	2.9	2.9	2.9
気 温	最 高 ( °C )	35.7	36.7	35.6	37.6	36.9	35.6	36.3	35.4	35.5	35.3	35.4
	最 低 ( °C )	-4.1	-4.1	-2.4	-2.3	-2.4	-2.2	-3.8	-2.7	-3.7	-5.4	-3.7
	平 均 ( °C )	15.7	16.0	16.2	15.9	16.1	15.6	16.5	16.1	16.1	16.2	15.9
降 水 量	日 最 大 (mm)	56.5	213.5	106.8	97.0	98.0	137.5	95.0	166.6	79.5	157.5	93.5
	月 最 大 (mm)	173.0 11月	509.0 10月	328.4 10月	163.5 11月	275.5 9月	533.5 10月	371.5 9月	472.0 10月	417.0 7月	423.0 7月	257.0 7月
	年総雨量 (mm)	1,383	1,399	1,541	1,905	1,663	1,500	1,461	1,985	1,772	1,928	1,632

## 46. 月別気象状況

令和4年

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		風速	最大 (m/s)	9.2	10.0	10.4	11.3	8.2	11.0	7.7	11.1	7.3	9.5
最大瞬間(m/s)	17		17.5	19.8	22.5	20	19.6	15.4	22.5	15.1	17.2	18.1	22.1
平均 (m/s)	2.7		2.8	3.2	3.3	2.5	3.0	2.9	2.9	2.8	2.9	2.5	2.8
最多風向	北		北北東	北東	南南西	南南西	南西	南南西	南南西	北東	北北東	北北東	北北東
気温	最高 (°C)	12.1	16	22.6	26.5	29.6	34.7	34.7	35.4	32.1	29.9	24.2	16.2
	最低 (°C)	-2.9	-3.7	0.5	0.8	7.1	14.2	20.6	19.0	15.8	6.1	6.2	-1.3
	平均 (°C)	4.7	4.8	10.4	14.5	18.1	22	26.4	26.7	23.7	17	14.4	7.7
雨量	日最大 (mm)	8.5	22.5	39.0	48.5	66.5	23.5	83.0	93.5	76.0	50.5	42.5	19.5
	月間 (mm)	16.5	66.5	92.5	249.0	177.5	74.0	257.0	205.5	194.5	121.5	113.5	64.0



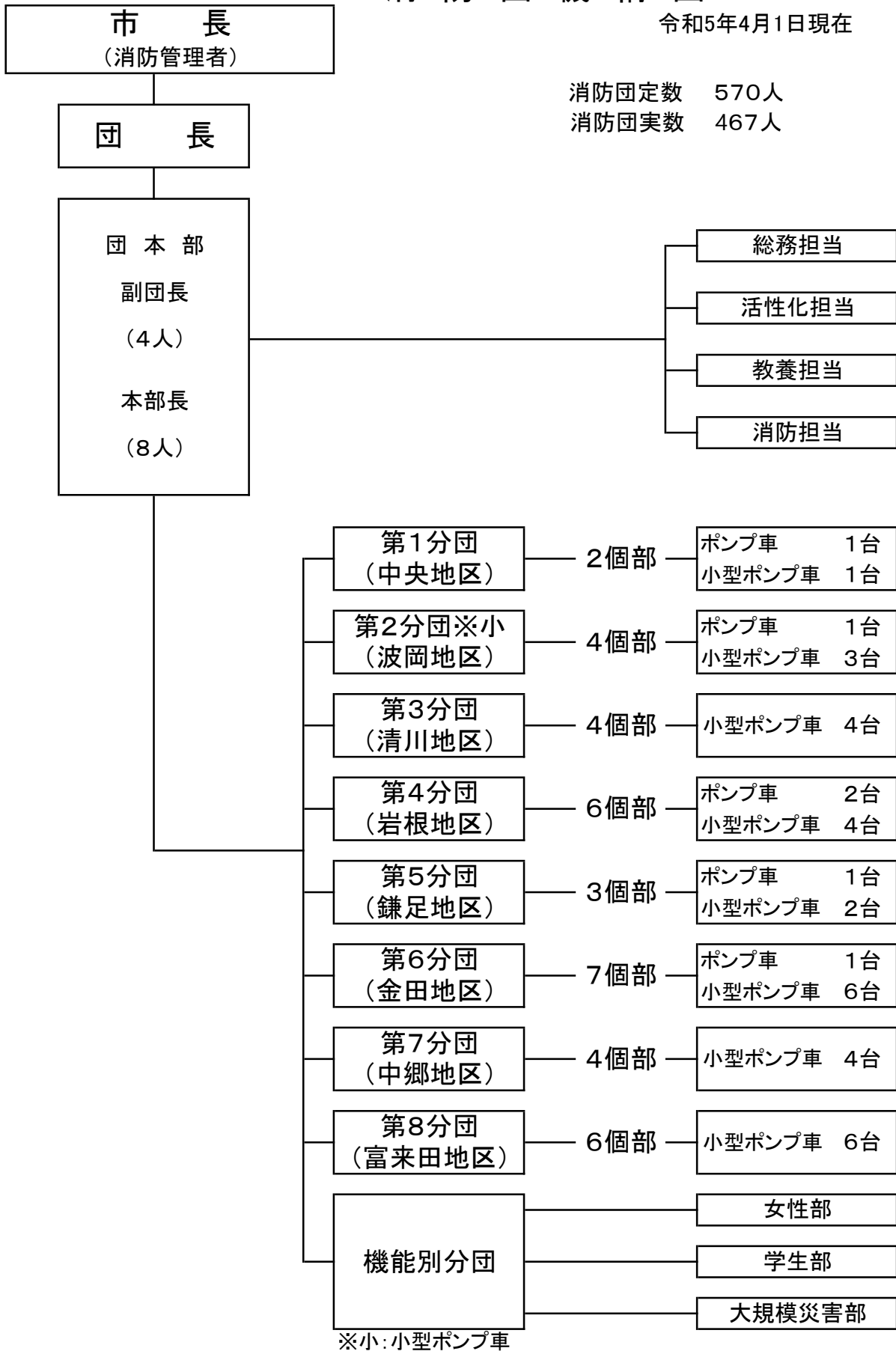
# 消 防 団 関 係

# 47. 消防団機構図

## 消防団機構図

令和5年4月1日現在

消防団定数 570人  
消防団実数 467人



## 48. 報酬及び費用弁償状況

(単位:円)

令和5年4月1日現在

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額報酬 (年額)	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
出勤報酬	火災・風水害出勤は、活動時間が4時間未満で4,000円、4時間以上で8,000円支給(令和4年4月から)※1人1日上限8,000円 警戒・訓練・その他出勤は一人一回3,500円支給(令和4年4月から)						

## 49. 退職状況

令和4年度

年数別	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上
計	51人	22人	9人	9人	7人
					4人

## 50. 新任状況

令和5年4月1日入団

年齢別	21歳未満	21歳 ~25歳	26歳 ~30歳	31歳 ~40歳	41歳以上
計	22人	6人	3人	0人	9人
					4人

## 51. 就業形態別状況

令和5年4月1日現在

就業形態	被用者		自営業	家族従業者	その他
	会社員	公務員(準公務員含)			
計	467人	311人	51人	56人	20人
					29人

## 52. 団員の推移

基準日:4月1日

年度別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
団員数(人)	559人	545人	504人	498人	458人	470人	467人

## 53. 団員在職年数

令和5年4月1日現在

年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上
計	467人	86人	116人	147人	72人	41人
						5人

参考 女性の団員19名 内訳(機能別分団女性部 13名 機能別分団学生部 3名 基本団員3名)  
学生の団員13名 内訳(機能別分団学生部 13名)

## 54. 年齢別及び階級別団員数

令和5年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満							3	3
20～24歳					1	2	13	16
25～29歳					6	9	18	33
30～34歳					7	10	42	59
35～39歳			2	6	10	24	74	116
40～44歳			3	6	10	17	60	96
45～49歳			6	2		7	48	63
50～54歳		1	3	2	1	4	36	47
55～59歳		3	2		2	1	14	22
60歳以上	1				1	2	8	12
合計	1	4	16	16	38	76	316	467

消防団員平均年齢 40.57歳

